



Artistic Digitizer

アーティスティックデジタイザー

簡単操作ガイド

2025/6/25 更新
(バージョン番号:2.0)



1	もくじ
2	ソフトウェアログイン
3	作業環境の設定
5	刺しゅう準備(ミシン・枠・生地の設定)
7	刺しゅうデザインを呼び出す
8	作業画面を操作する(拡大／縮小／スクロール)
10	刺しゅうデザインを保存する
11	イラストを刺しゅうに変換する
14	シュミレーターで縫い方を確認する
15	刺しゅう順序の並べ替え
17	刺しゅうオブジェクトの糸色を変更する
18	刺しゅうデザインを保存する
19	刺しゅうデザインをミシンへ出力する
20	文字をデジタイズ
22	下絵を呼び出す(背景画像)
24	自由にデジタイズ
25	デジタイズした形を微調整する
26	ステッチタイプを変更する
31	刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)
40	写真を刺しゅうに変換する
41	刺しゅうオブジェクトを編集する
44	刺しゅう順序の並べ替え
46	開始点・終了点の変更/糸切り・ミシン停止の設定
47	ヘルプの確認方法

※インストールの手順についてはArtistic Digitizer製品ホームページをご確認ください。

ソフトウェアログイン

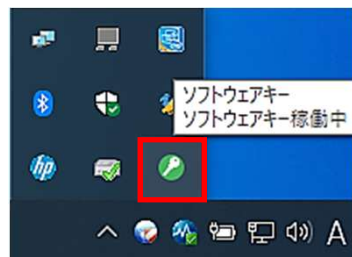
Artistic Digitizerは複数台のパソコンへのインストールが可能です。その場合、同時に起動できるパソコンは1台のため、使用するパソコンではシリアルナンバーとアクティベーションコードによるログインが必要になります。

※以下の作業はネット環境下で行ってください。

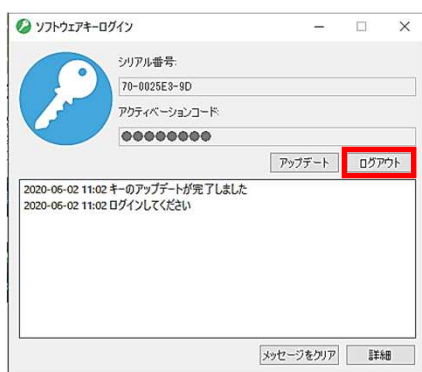
Mac OS



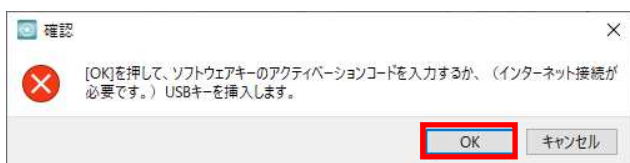
Windows OS



ログイン



ログアウト



ログアウト

複数のパソコンにArtistic Digitizerをインストールする際には、先にインストール済パソコンのソフトウェアをログアウトしておきましょう。ソフトが起動中の場合は閉じてから操作を行ってください。

通知領域(時刻やバッテリーなどの情報がある部分)にソフトウェアキーが表示されます。

ソフトウェアキーをダブルクリック

ソフトウェアキーログイン画面が表示されます。

『ログアウト』をクリック

メッセージ欄にログアウトの表示が追加されます。これで現在ソフトウェアを起動しているパソコンからログアウトできました。

正常にログアウトしているとき、ソフトウェアキーは緑からオレンジに変化しています。

※一度ログアウトしてもシリアル番号とアクティベーションコードは保存されています。

ログアウト後再ログインする場合、Artistic Digitizerのソフトを起動すると確認画面が表示されますが、『OK』をクリックするとソフトウェアキーログイン画面になります。

※未使用の状態では約8時間が経過すると自動でログアウト状態になります。

※ログイン後はインターネット環境下になくてもソフトは使用できますが、未接続・未使用のまま20日以上経過すると、ログインを求められることがありますのでご注意ください。

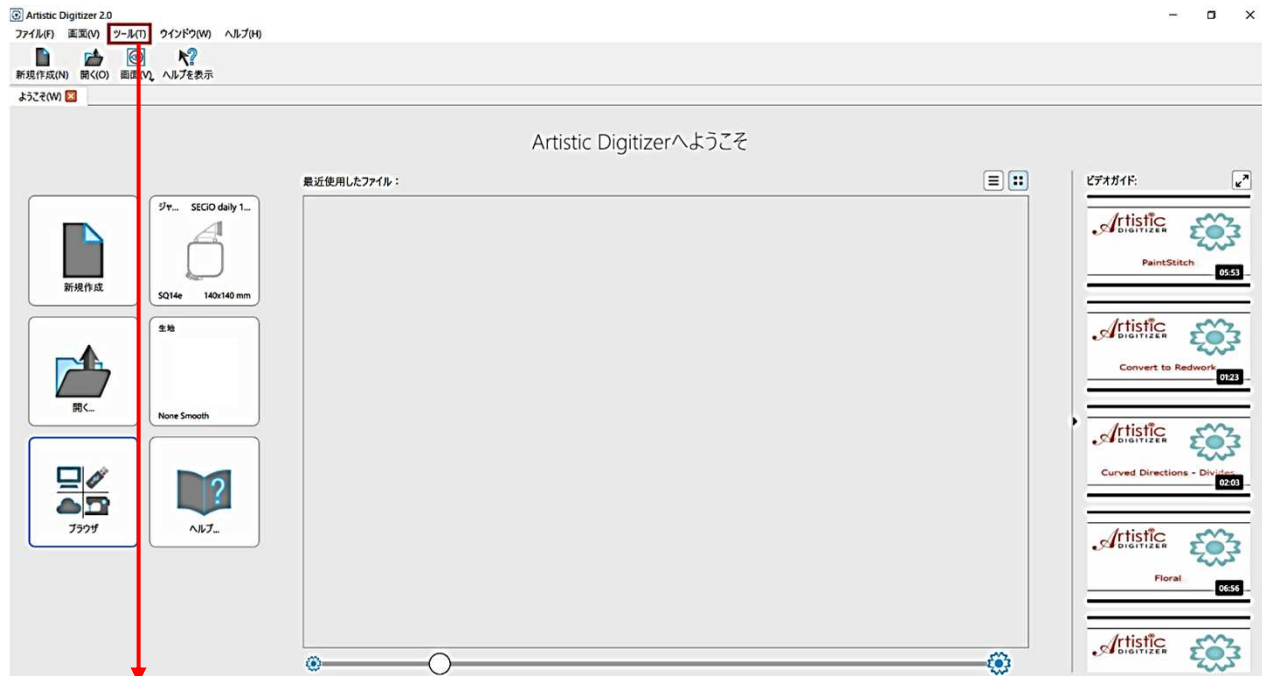
作業環境の設定

※ガイドの用語説明

クリック→マウスの左クリックをワンクリック

それ以外(ダブルクリック、右クリックなど)のときには説明に明記します。

Artistic Digitizer起動画面



初回起動時の画面設定

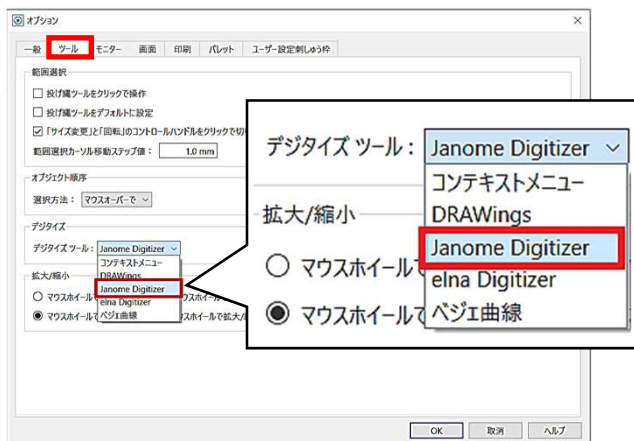
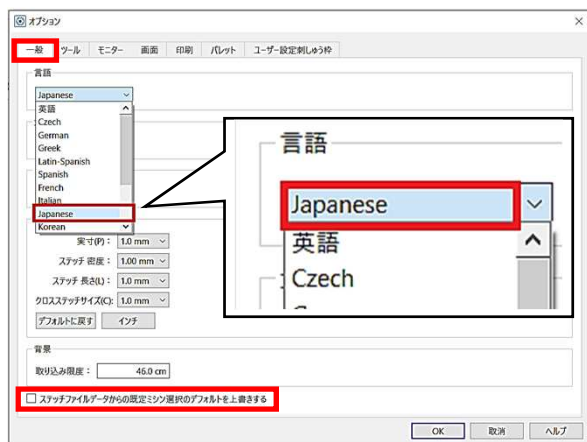
『ツール』をクリック
⇒『オプション』をクリック
オプション設定画面が開きます。

『一般』タブをクリック
⇒言語を『Japanese』に設定

ミシンのメーカーを頻繁に切り替えられる方は、
『ステッチファイルデータから既定のミシン選択のデフォルトを上書きする』にチェック
※開いたステッチファイルに基づいてミシンが自動的に切り替わります。

『ツール』タブをクリック
⇒デジタイズツールを『Janome Digitizer』に設定 (推奨)

ここは輪郭線をデジタイズする際の操作環境の設定です。他のベクターデザインプログラム等を使い慣れた方も、違和感なくArtistic Digitizerを使用できます。



作業環境の設定

初回起動時の画面設定



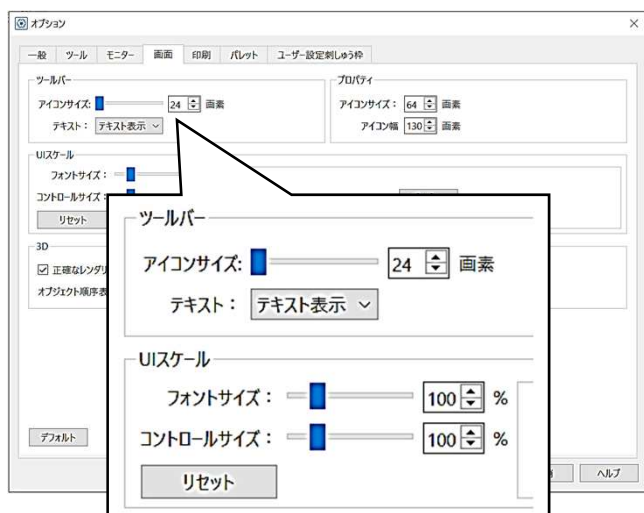
モニター画面の調整

この作業を行うことで、ズーム倍率100%のときの画面サイズが実寸になります。

『モニター』タブをクリック

⇒モニターの可視範囲(PCの液晶画面の横幅)を定規で測って入力

(定規がない場合には『自動検知』をクリックすると、大体のサイズを合わせることができます。)



アイコン／フォントサイズの調整

おこのみに合わせて作業画面の表示サイズを調整します。

『画面』タブをクリック

⇒ツールバーのアイコンサイズ／UISケールのフォントサイズを変更

参考

アイコンサイズ: 40

フォントサイズ: 140

※アイコンサイズ／フォントサイズを大きく設定するとツールオプションが一部画面に表示されないことがあります。



カラーパレット設定

使用する系をデフォルトに設定します。

本ガイドでは『JANOME』の系パレットをデフォルトに設定します。(初期設定)

『パレット』タブをクリック

⇒左下の『RGBをデフォルトに設定』にチェックが入っている場合はチェックを外す

⇒『OK』をクリック

※ここで変更した画面設定は、次回ソフト起動時から反映されます。そのため一度Artistic Digitizerを終了し、再度起動してください。

この画面での設定が、刺しゅう作成時の初期設定となります。ただし、ミシン・枠・生地の設定はデザインごとに個別に変更することも可能です。

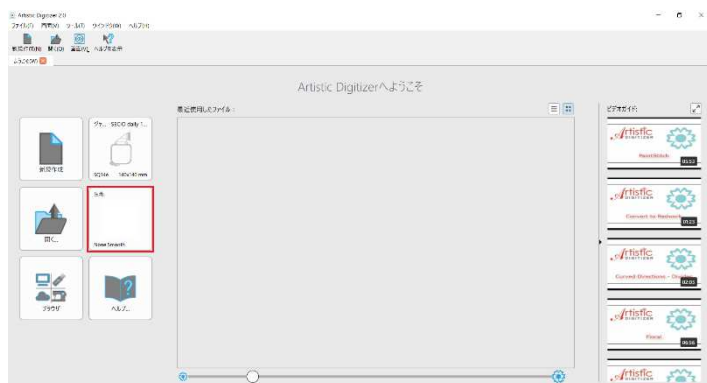


使用するメーカー、ミシンの順に設定し、使用する刺しゅう枠をクリックしてください。

本ガイドでは下記に設定しています。

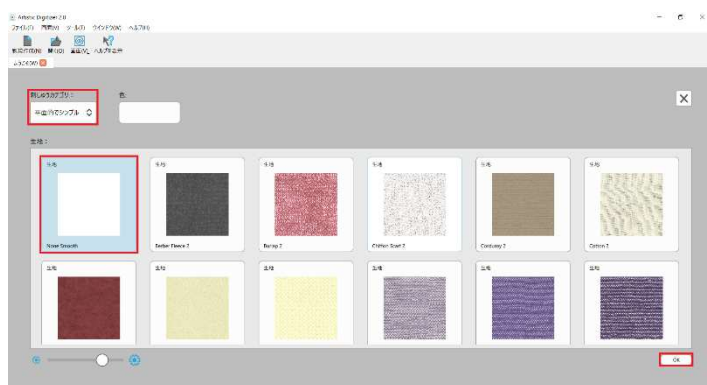
メーカー … ジャノメ
機種 … SECiO Daily 1000
刺しゅう枠 … SQ14e枠 (140×140 mm)

刺しゅう準備(ミシン・枠・生地の設定)



生地の設定

生地アイコンをクリック



まず刺しゅうカテゴリを設定し、次に使用する生地をリストから選んでダブルクリックします。

生地の設定に合わせて刺しゅう密度などの設定値を適切なものに自動で変更します。
(刺しゅうカテゴリ:とてもシンプル 生地:Bridal Tulle など)
色なども自由に変えることができるので刺しゅうの仕上がりイメージをよりリアルに見られます。

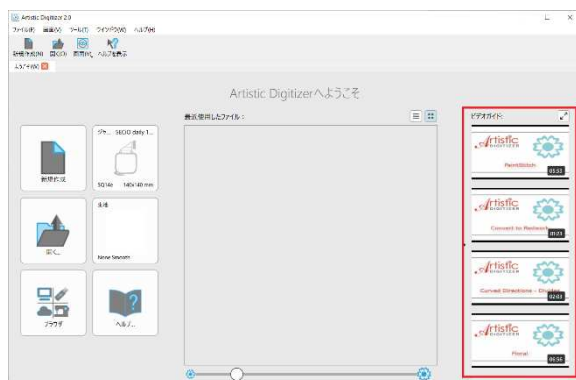
本ガイドでは下記に設定してください。

刺しゅうカテゴリ ... 平面的でシンプル
生地 ... None Smooth

設定する生地によっては刺しゅう作成時にデザインが見にくくなることがあるのでご注意ください。

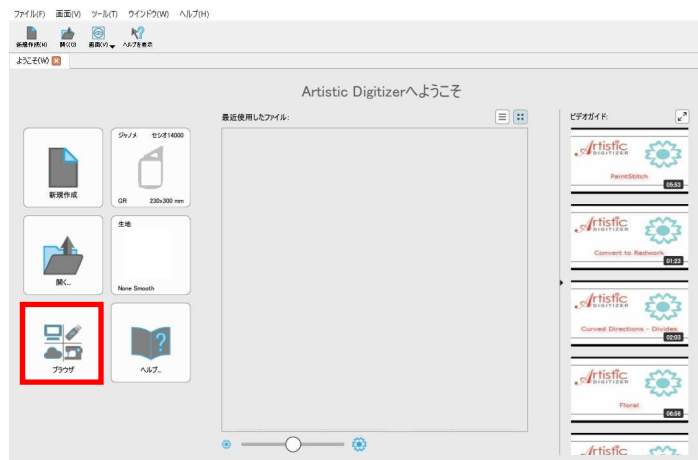
以上で刺しゅう準備は完了です。

HINT



ようこそ画面の右側に動画リンクがあり、Artistic Digitizerの操作動画をYouTubeで閲覧することができます。音声は英語のみですが、YouTube側の設定より字幕表示を日本語にすることが可能です。

刺しゅうデザインを呼び出す



ブラウザのアイコンをクリック

『ブラウザ』画面では刺しゅうデータやイラスト、写真などをプレビューで見ながら選択することができます。

内蔵デザインの保存先(初期設定)

『お気に入り』

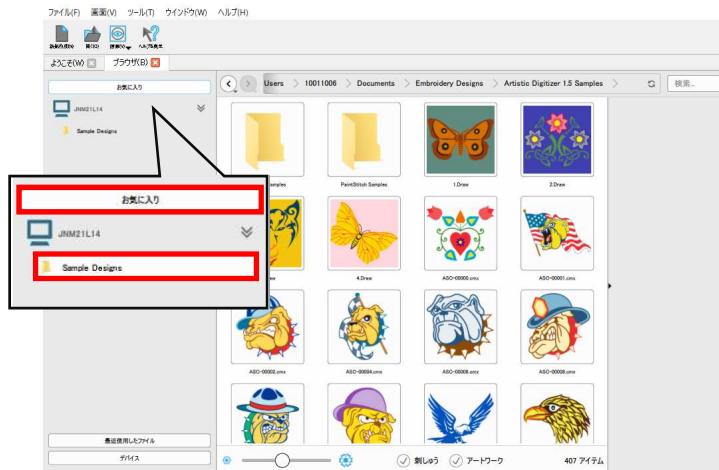
⇒『Sample Designs』

○○○.cmx →画像データ(ベクターデータ)

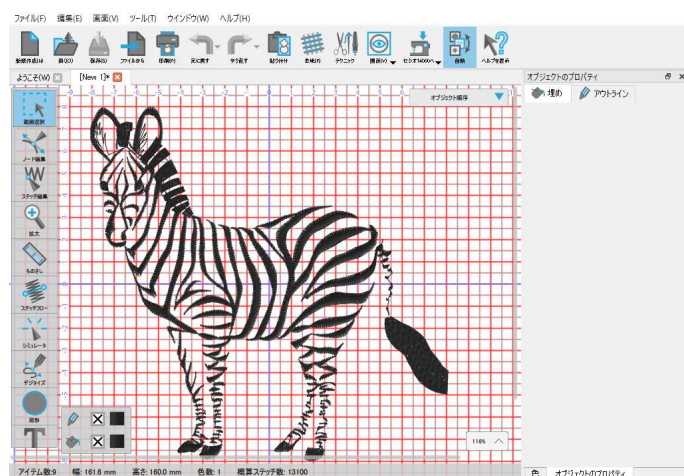
○○○.ngs →刺しゅうデータ

※Artistic Digitizerではベクターのイラストデータを開くと自動で刺しゅうに変換します。

おこのみのデザインを選んでダブルクリックしてください。



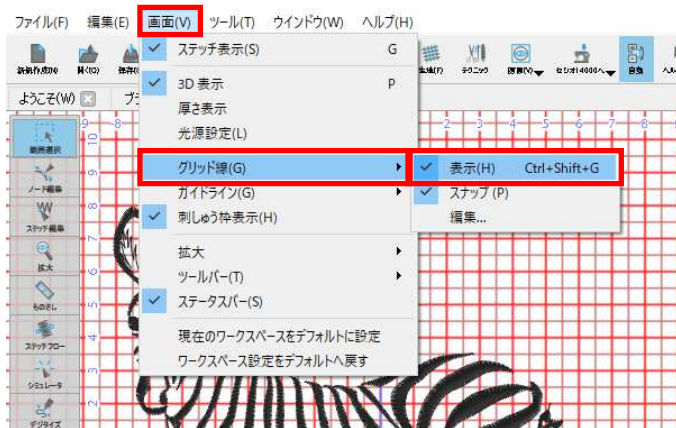
Copyright (c) 2025 DRAWSTITCH INTERNATIONAL LTD. and/or its licensors. All rights reserved.



Copyright (c) 2025 DRAWSTITCH INTERNATIONAL LTD. and/or its licensors. All rights reserved.

刺しゅうデザインが作業画面で開きます。
このとき選択したデザインが新規の作業画面で開きます。(上書きではない)

作業画面を操作する(拡大／縮小／スクロール)



グリッド線の表示切替

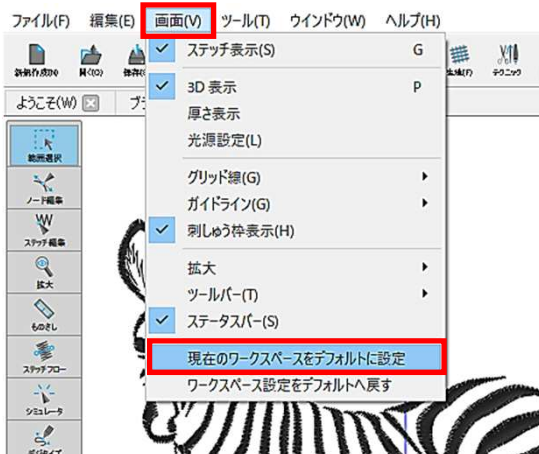
ガイドの性質上図が見つらなくなることを防ぐため、グリッド線を非表示にします。グリッド線を表示したままの操作もちろん可能です。

メニューバー

⇒『画面』をクリック

⇒『グリッド線』をクリック

⇒『表示』をクリックしてチェックを外す



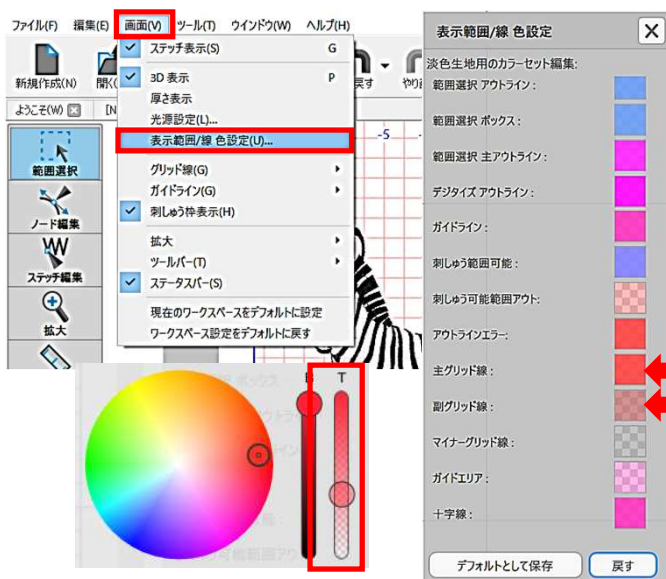
現在の画面設定をデフォルトにする

メニューバー

⇒『画面』をクリック

⇒『現在のワークスペースをデフォルトに設定』をクリック

これで次に新しい作業画面を開いたときにもグリッド線は非表示になります。



グリッド線の色変更

グリッド線の色を変更することができます。色の透明度を変更することでグリッド線を薄く表示させることができます。

メニューバー

⇒『画面』をクリック

⇒『表示範囲/線色設定』をクリック

⇒『主グリッド線』をクリックする

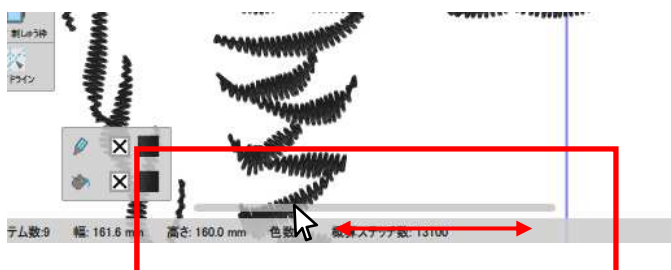
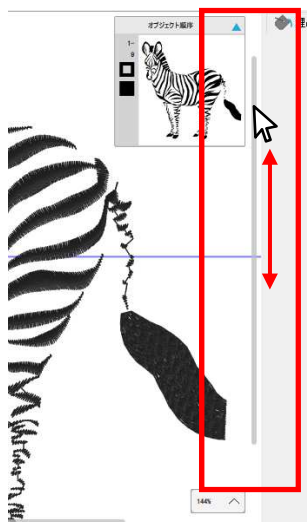
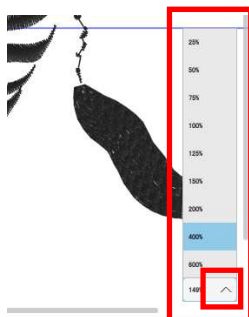
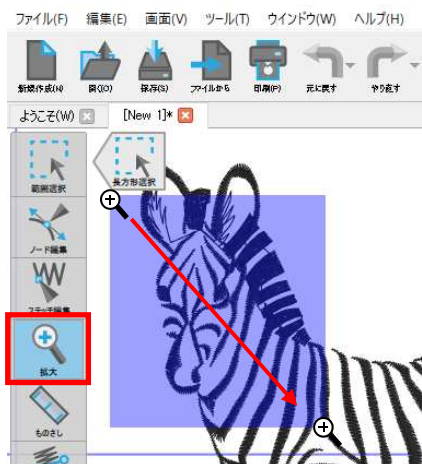
⇒カラーホイールが表示されるので、色の透明度(T)を変更し、何もない箇所をクリック

⇒同様に『副グリッド線』の色を調整する

⇒デフォルトとして保存(新規作成で作成した際にグリッド線の色味を反映させる場合)

作業画面を操作する(拡大／縮小／スクロール)

作業画面上で画面の拡大／縮小や縦／横スクロールを行う方法です。



画面の拡大／縮小

- ・垂直ツールバーの『拡大』機能を使う
『拡大』をクリックすると、マウスの矢印が虫眼鏡に変ります。拡大したい部分の左上あたりをクリックしながら右下方向へ動かし、拡大したい部分が青く囲まれたらクリックを外す。縮小するときは同じく垂直ツールバーの『拡大』をクリックし、『デザイン表示』か『全体表示』をクリック。
- ・画面右下にある表示倍率を変更する
25%～600%で拡大／縮小が可能。
- ・マウスホイールを使う(オススメ！)
拡大／縮小したい部分にマウスの矢印を移動し【ctrl】キー(Mac OS:【command】キー)を押しながらマウスホイール動かす。
上に動かすと拡大、下に動かすと縮小する。

画面の縦スクロール

- ・画面右の縦スクロールバーを使う
作業画面の右に表示される縦長のバーの上にマウスを移動し、クリックをしながら上下に動かす。
※刺しゅうデザインの全体が表示されているときにはスクロールバーは表示されません。
- ・マウスホイールを使う(オススメ！)
マウスホイールを上には動かせば上に、下には動かせば下に移動する。

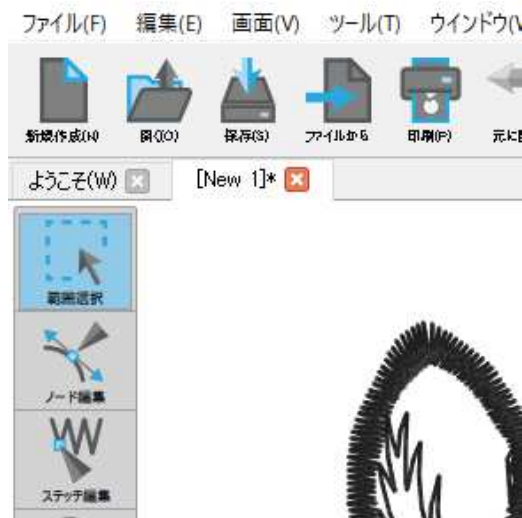
画面の横スクロール

- ・画面下の横スクロールバーを使う
作業画面の下に表示される横長のバーの上にマウスを移動し、クリックをしながら左右に動かす。
※刺しゅうデザインの全体が表示されているときにはスクロールバーは表示されません。
- ・マウスホイールを使う(オススメ！)
【Alt】キー(Mac OS:【option】キー)を押しながらマウスホイールを上には動かすと左に、下に動かすと右に移動。

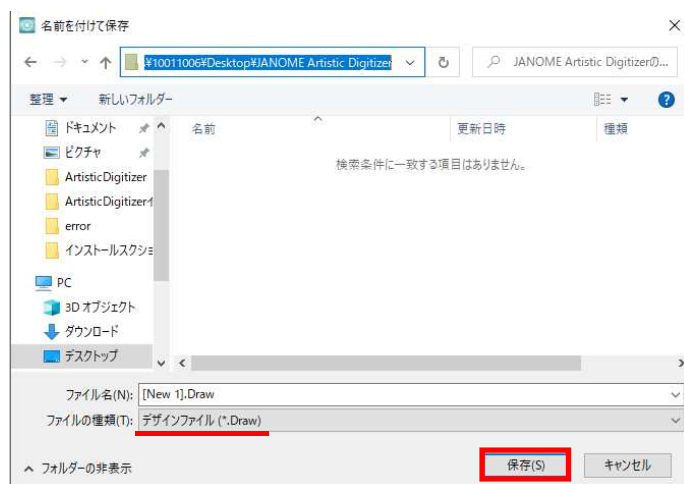
※上記の他、パソコンのタッチパッドを二本指で操作して、画面の拡大・縮小・移動を行うことも可能です。

刺しゅうデザインを保存する

この方法で保存したデータは、レイアウトやサイズなどの再編集を行うときに使うデータです。
必要なデータはこまめに保存しましょう。



標準ツールバー
⇒『保存』をクリック



「名前を付けて保存」の画面が表示されます。
ファイル種類が「デザインファイル(DRAW)」になっていることを確認します。

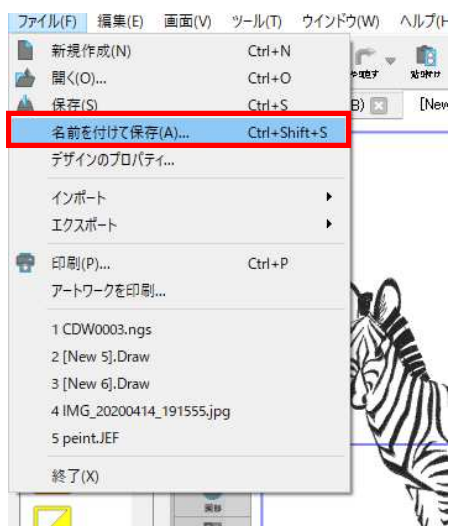
必要に応じてファイル名を変更
⇒『保存』をクリック

2回目以降に上書き保存するときは、『保存』をクリックすると自動で上書き保存されます。

※このデータはマシンで出力するものではないので
保存先は問いません。

一度保存したデータを別の名前で保存

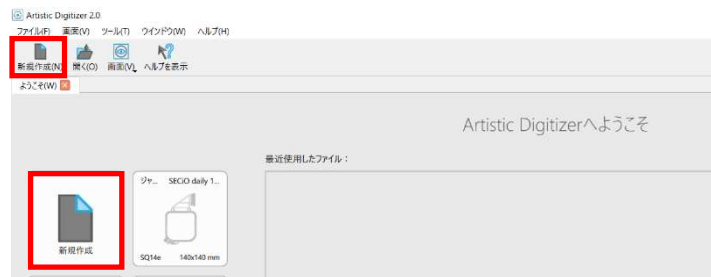
メニューバー
⇒『ファイル』をクリック
⇒『名前を付けて保存(A)』をクリック



イラストを刺しゅうに変換する

【.jpeg】【.png】【.bmp】などのビットマップデータのイラストを刺しゅうに変換します。

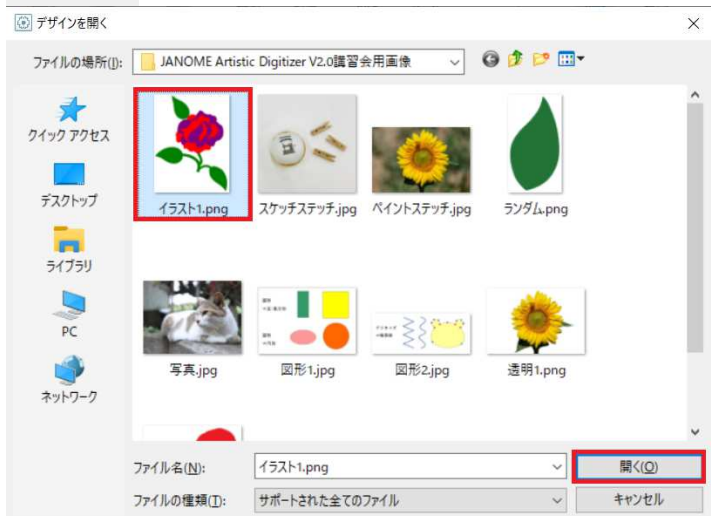
※イラストでも【.ai】【.eps】【.cmx】【.wmf】などのベクターデータファイルを開いたときに自動で刺しゅうに変換されます。



『新規作成』をクリック



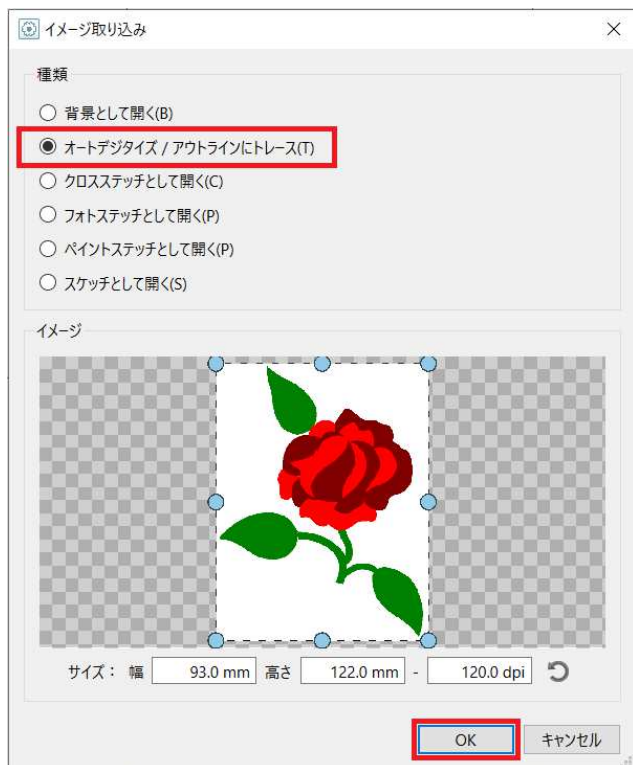
⇒標準ツールバー『ファイルから』をクリック



『デザインを開く』の画面が表示されます。
デスクトップの『JANOME Artistic Digitizer V2.0 講習用画像』を開きます。

『イラスト1.jpg』をクリック
⇒『開く』をクリック

※講習の前に「JANOME Artistic digitizer V2.0 講習用画像」のフォルダをデスクトップに保存しておく必要があります。

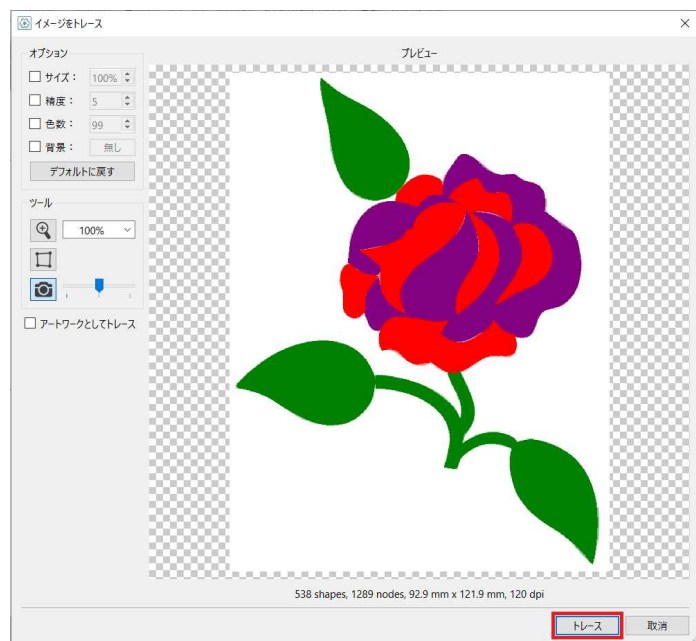


『イメージを取り込み』の画面が表示されます。

『オートデジタイズ／アウトラインにトレース』に
チェックを入れる
⇒『OK』をクリック

刺しゅうのサイズを変更したい場合は『イメージを
取り込み』の画面でサイズを変更します。

イラストを刺しゅうに変換する



『イメージをトレース』の画面が表示されます。

※使用するイラストによっては、刺しゅうに変換したとき不要な色を多く認識することがあります。そのときは、『イメージをトレース』の画面のオプションの『色数』にチェックを入れます。色数が99色になっているので、少ない数(2~10程度)を直接入力すると認識する色数を減らすことができます。

『トレース』をクリック

作業画面に切り替わり、イラストが刺しゅうになります。



オートデジタイズで変換したデザインを編集する場合、必要な作業は3つです。

- ①『重なり編集』を『切り抜き』に設定
- ②グループ解除
- ③プロパティの『重なり削除』を『しない』に設定

①重なり編集を切り抜きに設定

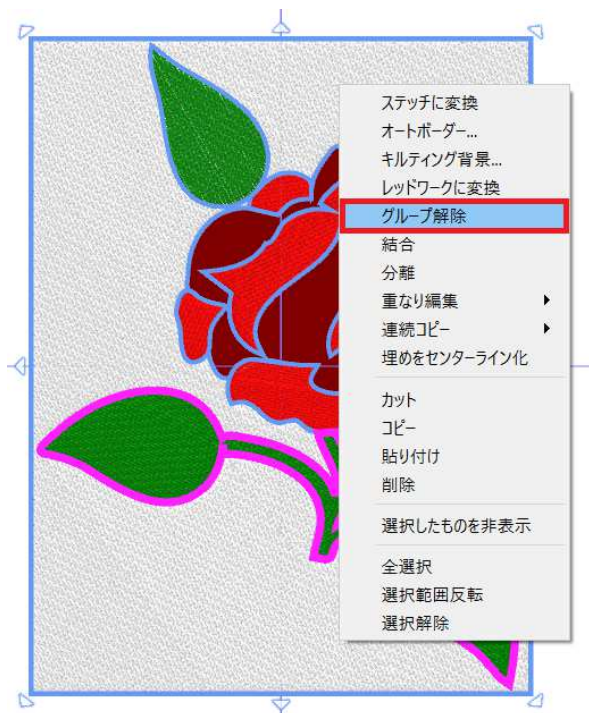
オートデジタイズで作成した刺しゅうオブジェクトは形や構成が複雑なことがあるので、このあとの操作をしやすくするための作業を行います。

標準ツールバー

- ⇒『重なり編集』をクリック
- ⇒『切り抜き』をクリック



イラストを刺しゅうに変換する



②グループ解除

オートデジタイズで作成した刺しゅうデザインはすべてのオブジェクトがグループ化しています。それぞれのオブジェクトを操作するためにグループを解除します。
※もしここが『グループ』となっていたら既にグループ解除されているため、そのままOKです。

刺しゅうの上で右クリック
⇒『グループ解除』をクリック

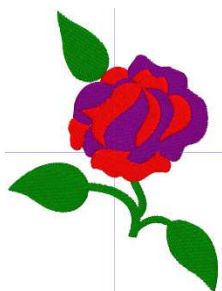
これでグループの解除ができました。



③プロパティの『重なり削除』を『しない』に設定

※①の『重なり編集』を『切り抜き』に設定とは別の設定です。

プロパティ
⇒『重なり削除』項目の『自動』をクリック
⇒『しない』をクリックして設定を変更

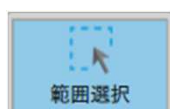
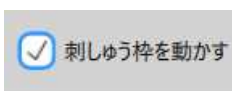
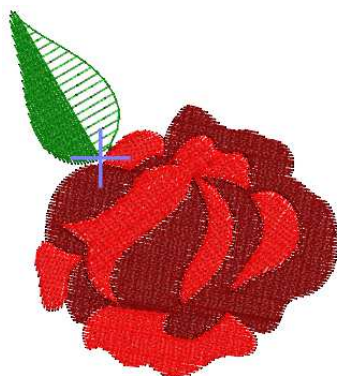


①②③の設定が完了したら、一度刺しゅう以外の操作画面をクリックしてから背景の白のオブジェクトのみを選択し、【delete】キーを押して削除してください。

シュミレーターで縫い方を確認する



『自動』のときオブジェクト順序は
このような表示



Artistic Digitizerの大きな特長にオブジェクトの順序を自動で設定する機能があります。
オブジェクト順序が『自動』になっているとき、ソフトが効率の良い縫い方を自動で選択しています。

ここでどのような順序で刺しゅうが行われるか確認します。

垂直ツールバー
⇒『シミュレータ』をクリック

操作画面がシミュレータ画面に変わります。

画面下にある再生ボタン  をクリックするとシミュレータが再生し刺しゅう時のイメージをリアルに表示します。
デザインの色替え回数などを確認することもできます。

刺しゅうのデザインによっては、マニュアルでの順序変更が必要な場合があります。

※シミュレータ画面で再生したとき、通常は針が動く表示ですが『刺しゅう枠を動かす』にチェックを入れた場合には、画面中央に刺しゅう押さえが表示され、実際にミシンで縫っているようなシミュレーションが可能です。

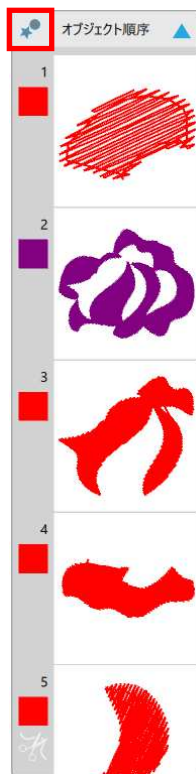
シュミレータ画面を作業画面に戻します。

垂直ツールバー
⇒『範囲選択』をクリック

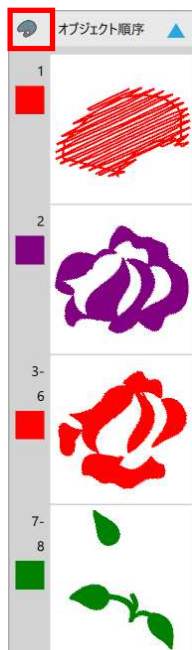
刺しゅう順序の並べ替え



オブジェクト別



カラー別



オブジェクト順序の並べ替え

もし余計な糸替えがある場合はオブジェクト順序をマニュアルで並べ替えます。

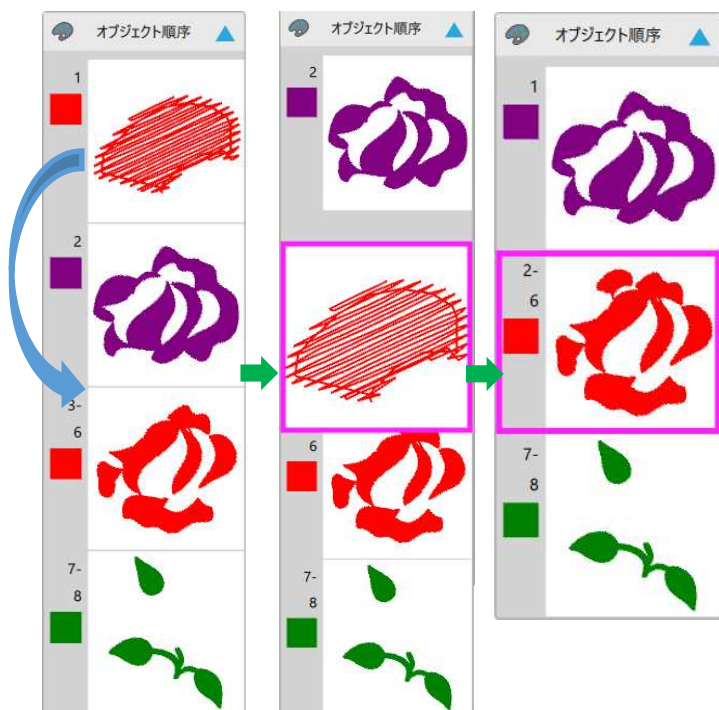
標準ツールバー
⇒『自動』をクリック

『自動』のアイコンが『マニュアル』に変わります。
これでこのデザインのオブジェクト順序の変更方法をマニュアル操作に設定できました。
『オブジェクト順序』は各オブジェクトごとに並べ替えられます。

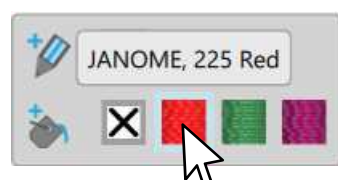
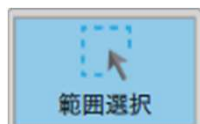
オブジェクト順序は『カラー別表示』と『オブジェクト別表示』で切り替えられます。
左上のアイコンをクリックして切り替えることができます。

刺しゅうの縫い順序は『オブジェクト順序』から直接編集することができます。

『オブジェクト順序』内のオブジェクトをクリックしながらマウスを他の刺しゅうの上または下へ移動させるとオブジェクトの順序が変わります。



刺しゅう順序の並べ替え



糸色をまとめて変更する

使用色表示の色の上にマウスを移動すると、その糸が何番の糸なのか糸色番号で表示します。オートデジタイズでイラストから変換した刺しゅうは、糸色がRGB表示になっています。(刺しゅうに変換の過程で一度アートワークに変換されるため。RGBとはデジタル画面上での色の種類。)このままでは何番の糸かわかりづらいので、糸色をまとめてジャノメの糸色番号に変換します。

垂直ツールバー

⇒『色の管理』をクリック

作業画面にカラーチャートが表示され、糸色がジャノメの色番号になりました。

垂直ツールバー

⇒『範囲選択』をクリック

使用色表示で糸色番号を確認できます。

HINT



同じ色の刺しゅうをまとめて選択する

使用色表示ツールの糸色の上で右クリック

⇒『埋め色を範囲選択』をクリック

(『色を範囲選択』をクリックすると、アウトラインを含むすべてのオブジェクトをまとめて選択する。)

こうすることで、同色の刺しゅうオブジェクトを個別に選択できます。

これを同じぬい順にまとめたいときは

上記の方法で同色のオブジェクトを選択した状態で

⇒刺しゅうオブジェクトの上で右クリック

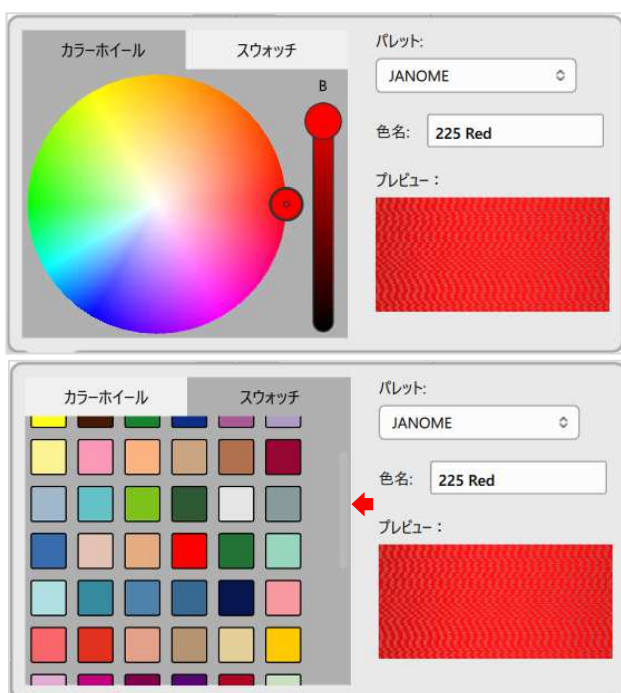
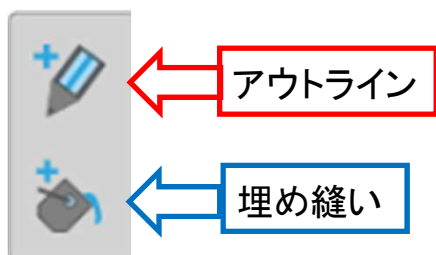
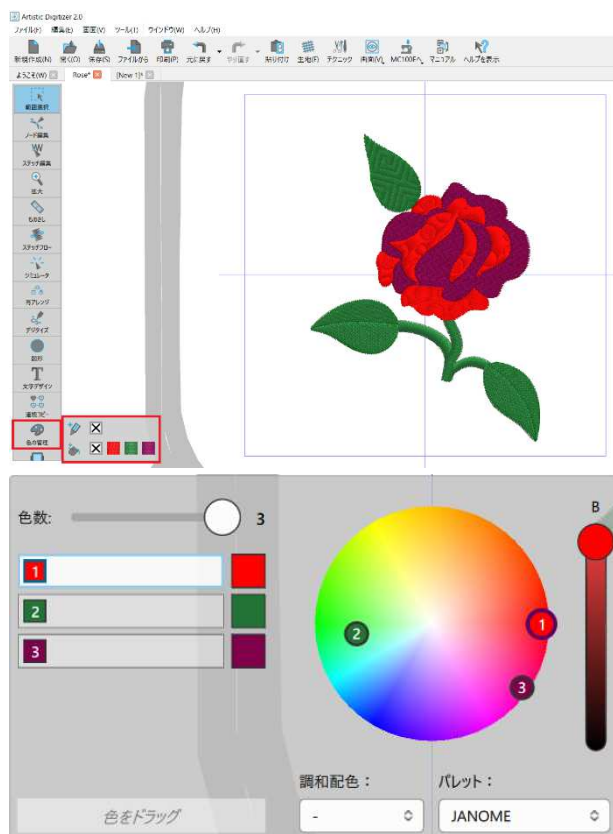
⇒『並び替え』をクリック

⇒『デザインの前へ』または『デザインの後へ』をクリック

こうすることで同色の刺しゅうオブジェクトが同じ縫い順でまとめられます。

刺しゅうオブジェクトの糸色を変更する

カラーホイールとスウォッチを使って糸色を変更することができます。(タブで切り替え可)



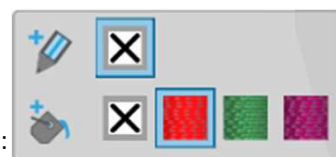
垂直ツールバーの『色の管理』、もしくは『使用色表示ツール』から糸色を変更することができます。

色の管理:



カラーホイールが表示されます。
使用色のレイヤーごとに色を変更できます。

使用色表示ツール:



『カラーホイール』と『スウォッチ』の2種類の表示方法があり、タブで切り替えることができます。
刺しゅうオブジェクトを選択し、『アウトライン』または『埋め縫い』のアイコンをクリックして色変更します。

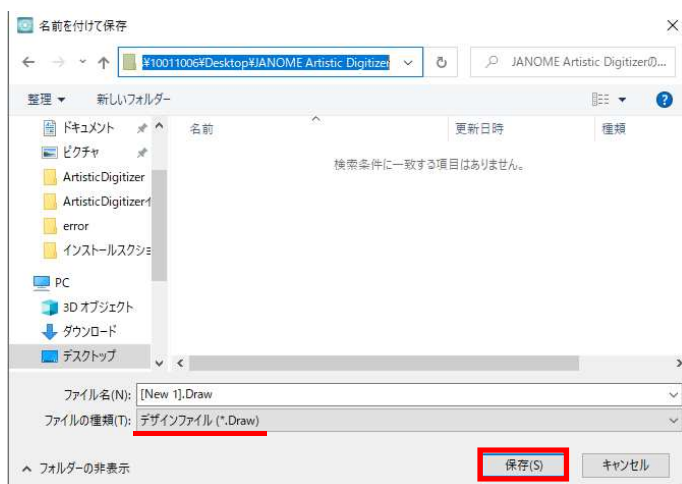
※スウォッチはスクロールすることで全ての色々を表示できます。

刺しゅうデザインを保存する

この方法で保存したデータは、レイアウトやサイズなどの再編集を行うときに使うデータです。
必要なデータはこまめに保存しましょう。



標準ツールバー
⇒『保存』をクリック



「名前を付けて保存」の画面が表示されます。
ファイル種類が「デザインファイル(DRAW)」になっていることを確認します。

必要に応じてファイル名を変更
⇒『保存』をクリック

2回目以降に上書き保存するときは、『保存』をクリックすると自動で上書き保存されます。

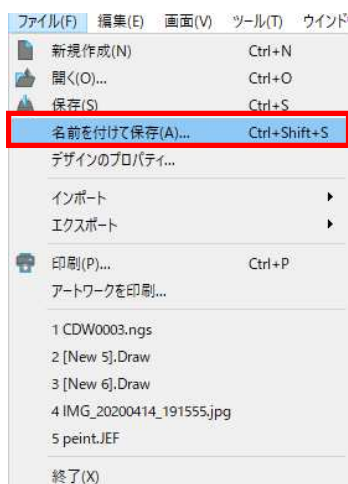
※このデータはマシンで出力するものではないので
保存先は問いません。

一度保存したデータを別の名前で保存

メニューバー

⇒『ファイル』をクリック

⇒『名前を付けて保存(A)』をクリック



刺しゅうデザインをマシンへ出力する

刺しゅうのデータをマシンで出力する方法は2種類あります。

出力可能な刺しゅうデータの種類がマシンによって異なるので、必ず使用するマシンを選択しておきましょう。



USBメモリで送信する

USBメモリを準備します。(マシンによっては読み込みに時間がかかる場合があるので、USB2.0で8GB以下のUSBメモリの使用を推奨します。)

パソコンにUSBメモリを接続

⇒標準ツールバー

⇒『セシオデイリー1000へ』

⇒『USBメモリへ』をクリック

『USBメモリへエクスポート』の画面が表示されます。

差し込んだUSBメモリをクリック

⇒警告が表示される場合は『はい』をクリック

⇒『Embf』というフォルダをダブルクリック

※EMB(親)／Embf(子)フォルダは自動で作成されます。

※警告表示の『はい』をクリックすると、EMB／Embfフォルダが自動で作成されます。2回目以降は表示されません。

※Embfフォルダと同じ階層に別名称の新規フォルダを作成することができます。(フォルダ名は半角英数字)

※刺しゅうデータをマシンで出力するために、子フォルダ内にデータを保存してください。(自作フォルダを含む)

※ジャンメ刺しゅう機能付きマシンにUSBメモリを差し込み電源を入れることでも、EMB／Embfフォルダは自動で作成されます。

ファイル名を必要に応じて変更する(半角英数字推奨)

⇒『エクスポート』をクリック

『USBメモリへエクスポート』の画面が消えたらマシン出力用データの保存が完了しています。

マシンに直接送信する

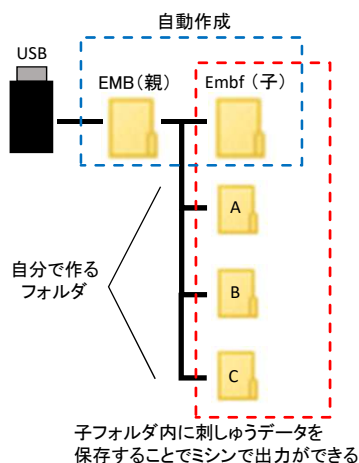
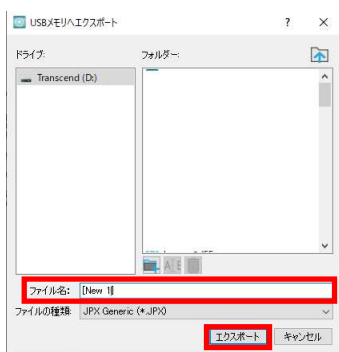
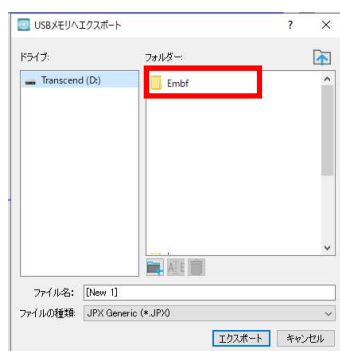
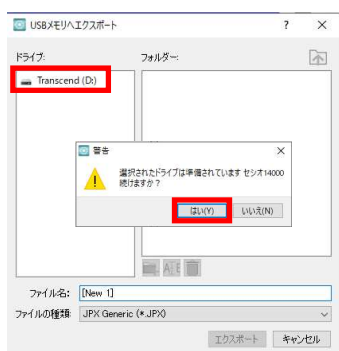
マシンに電源を入れて刺しゅう画面に切り替えた状態で、USBケーブル(付属はオプション)でパソコンと接続します。

標準ツールバー

⇒『セシオ14000(選択マシン名)へ』をクリック

⇒『直接接続で』をクリック

※直接接続が可能なマシンは、別途ソフトが付属しています。(アキュツールズ、アキュツールズS など)事前にソフトをインストールし、ミシンドライバーをパソコンにインストールしておいてください。



機種別読み込み可能ファイル

.jef

.jpx

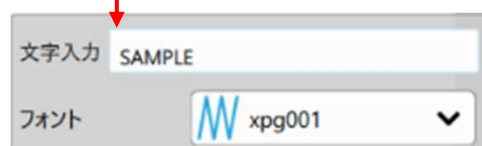
セシオ14000	Hyper Craft 1500	セシオデイリー1000
セシオ9900 Pro	ハイパークラフト900	MC100E
セシオ9720P	ハイパークラフト930	セシオプロ5000
セシオ9900	ハイパークラフト850	セシオクラフト3000
セシオ9710	MC400E	NS-α

それ以外の機種(職業用刺しゅう機を含む)

※.jpxの読み込み可能なモデルは.jefも読み込み可能です。

文字をデジタイズ

Artistic Digitizerでは、内蔵されたアルファベット／日本語書体(計263書体)の他に、パソコンに内蔵された書体(トゥルータイプフォント)にも対応しています。



『新規作成』をクリック

垂直ツールバー

⇒『文字デザイン』をクリック

⇒『文字入力』をクリック

作業画面の左上に文字のツールオプションが表示されます。

ツールオプション

⇒フォント: xpg001

⇒文字入力: SAMPLE

※【Shift】キーを押しながらキーボードを打つと大文字で入力されます。

文字は作業画面の真ん中にできます。

文字を縦書きにします。

ツールオプション

⇒パス上文字: 垂直

文字スペースを調整します。

ツールオプション

文字スペース: -5.0

文字のツールオプションではフォントの選択の他、フォントサイズ (5.0～1000.0)、文字スペース(-30～30)、文字列の形状などの設定が可能です。

文字をデジタイズ



S
A
M
P
L
E

垂直ツールバー『範囲選択』

※文字デザインの作成を終了します。

文字の色を変更します。

文字を選択した状態で、
『使用色表示ツール』の『埋め縫いアイコンをクリックし
ます。
スウォッチのタブをクリックします。
※スウォッチはスクロールできます

スウォッチの糸色の中から好みの色をクリックして
選択します。

文字のツールオプションではフォントの選択の他、
フォントサイズ、文字スペース、文字列の形状などの
設定が可能です。

HINT

フォント形式は文字の前にアイコンで表示されます。



… プレデジタイズフォント(ソフト内蔵フォント)
比較的小さいサイズの刺しゅうにも対応しやすい。(※シンプルなフォントに限る)



… True Type フォント(パソコン内蔵のフォント)
フォントをダウンロードすることで、新しい文字の刺しゅうを追加することが可能。



… Symbol フォント
特殊文字。絵文字のような入力が可能だが、アルファベットではないので、
ここでの入力は上級者向け。別途『記号と特殊文字』機能を使っての入力が可能。

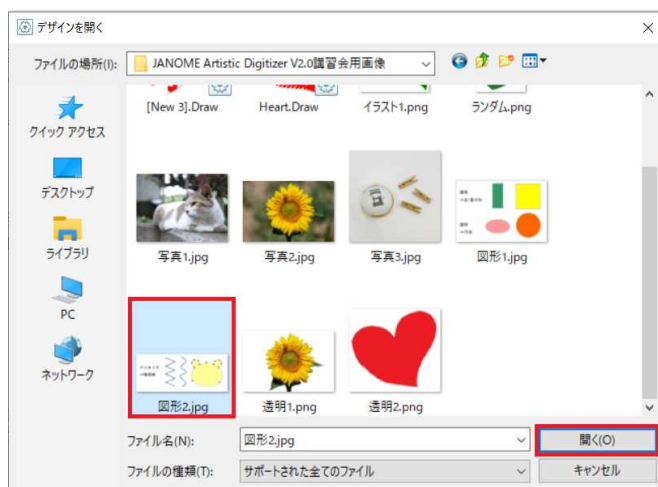
下絵を呼び出す(背景画像)



標準ツールバー
⇒『新規作成』をクリック



新しい画面が開きました。
標準ツールバー
⇒『ファイルから』をクリック

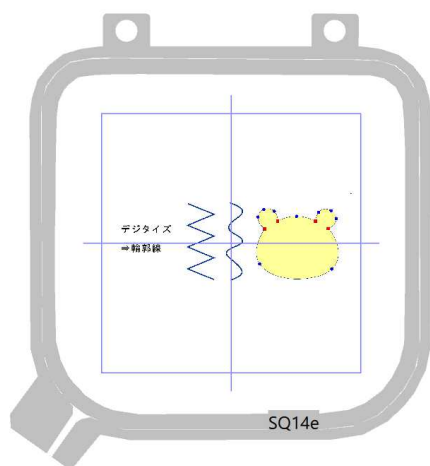
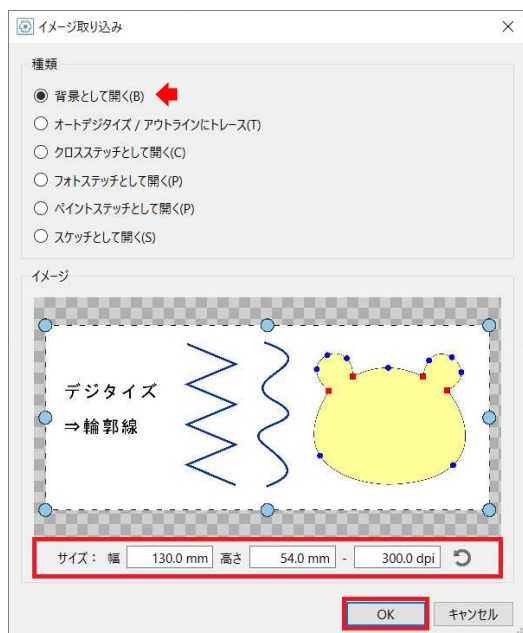


『デザインを開く』の画面が表示されます。
デスクトップの『JANOME Artistic Digitizer講習用画像』
を開きます。

『図形2.jpg』をクリック
⇒『開く』をクリック

※講習の前に「JANOME Artistic digitizer講習画像」の
フォルダをデスクトップに保存しておく必要があります。

下絵を呼び出す(背景画像)



『イメージを取り込み』の画面が表示されます。

『背景として開く』にチェックが入っています。

下絵のサイズは画面下の入力画面で変更します。
枠のサイズなどに合わせてここで出来上がりのサイズ
に設定しておきます。

『OK』をクリック
⇒作業画面の上でクリック

『図形』の画像が背景として開きました。

HINT



作業画面で下絵を呼び出したあとのサイズ変更

メニューバー
⇒『画面』をクリック
⇒『背景表示』をクリック
⇒『プロパティ』をクリック

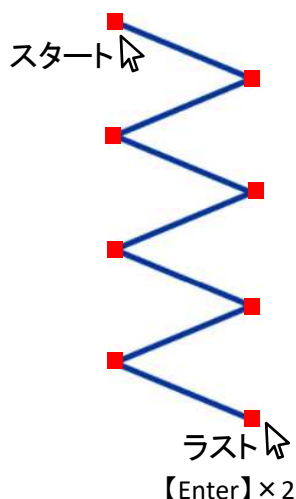
『背景のプロパティ』の画面が表示されます。
幅または高さの数値を半角で入力するか、
もしくは数字の下にあるトラックバーを左右に
スライドすることで、背景画像のサイズが変わります。

自由にデジタイズ

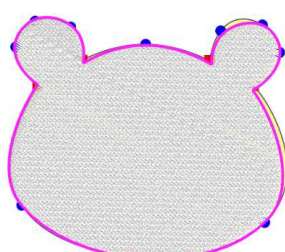
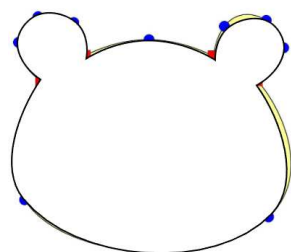
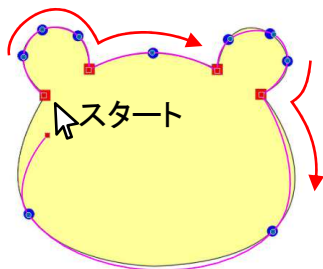
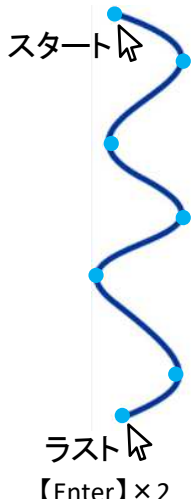
円形や四角形などの図形のデジタイズの他に、自由な形をデジタイズしていきます。
この機能を使えばどんな形でも作ることができます。



左クリック
(直線、角)で作る



右クリック
(曲線、円)で作る



【Enter】

背景画像は下の線とクマのイラストを使用するので見やすい位置に画面を移動させてください。

線をデジタイズ

垂直ツールバー

『デジタイズ』をクリック

⇒『輪郭線』をクリック

背景画像に沿ってデジタイズしてみましょう。

『輪郭線』のデジタイズは、マウスの左クリックと右クリックを使います。

■ **左クリックのポイント(ノード) : 直線、角**

● **右クリックのポイント(ノード) : 曲線、円**

という役割を持ったポイント(ノード)が作成されます。
(操作環境の設定により、上記と異なる場合があります。)

クリックを失敗したときは、【Back Space】キー (Mac OS: 【delete】キー) を押すと前のポイントに戻れます。

最後に【Enter】キーを2回押します。デジタイズした線がピンクで表示され、刺しゅうのラインになりました。

※一度『範囲選択』をクリックして、線のオブジェクトから選択を外しておきます。

閉じた形状(面)をデジタイズ

背景画像の■を左クリックで、●を右クリックでデジタイズしていきます。スタートのポイントとラストのポイントが重なる位置にマウスを持っていくと、マウスのポイントの色が変わります。そこでクリックするとスタートとラストのポイントがつながってデジタイズした形が白くなります。

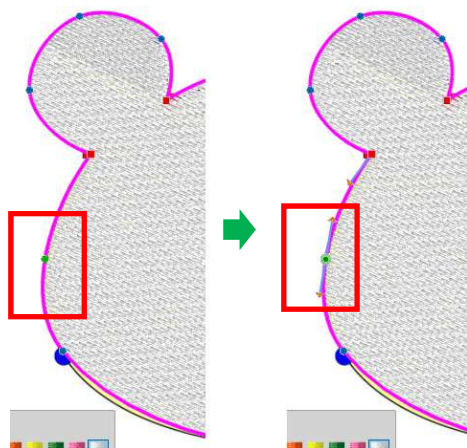
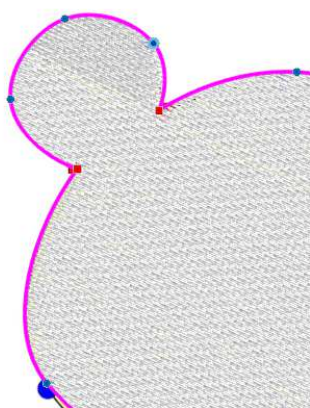
最後に【Enter】キーを1回押します。デジタイズした形が刺しゅうになりました。

※【Enter】キーを押す(刺しゅう化する)前の白の状態のときは、一度操作をやめても続きからデジタイズすることができます

※輪郭線のデジタイズ時に長押しすると、ベジェ曲線の作成になります。

デジタイズした形を微調整する

前項までのデジタイズで刺しゅう化したオブジェクトのポイント(ノードポイントと呼びます)を微調整します。



垂直ツールバー ⇒『ノード編集』をクリック

選択している刺しゅうオブジェクトのフチに ■ ● のノードポイントが表示されます。

ノードポイントの移動

ノードポイントの上でクリックしながらマウスを動かすとそのノードポイントが移動します。

ノードポイントの削除

ポイントの上でクリックするとポイントの色が変わり、ノードポイントを選択できます。

【Delete】キーを押すと選択したノードポイントを削除します。

ノードポイントの追加

フチのピンクのラインの上にマウスを動かすと緑の●ポイントが表示される。その状態でダブルクリックすると、新しいノードポイントが追加されます。

※この方法で後から追加したノードポイントは描画系ソフトでよく使われるベジェ曲線(ポイントの両サイドに矢印がついたもの)になります。

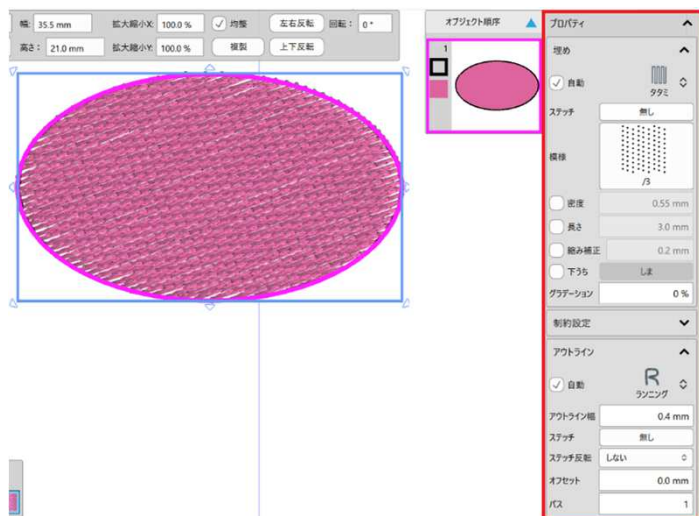
ジャノメデジタイザーポイントを使いたい場合は下記の方法でポイントタイプを変更してください。

追加したノードポイントの上で右クリックする

⇒ 尖鋭ノード(直線・角のポイント)
自動円滑ノード(曲線・円のポイント)

ステッチタイプを変更する

デジタイズした刺しゅうオブジェクトのステッチタイプを変更します。
埋め(縫い)とアウトラインのステッチタイプをそれぞれ変更することができます。



①タタミ



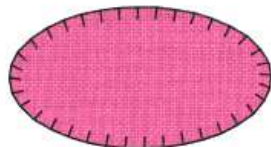
②サテン



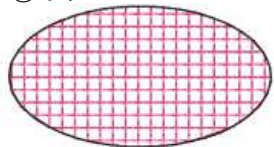
③縁沿い



④アップリケ



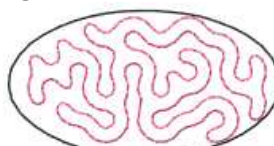
⑤ネット



⑥連続コピー



⑦スティップリング



⑧クロスステッチ



※アートワークは刺しゅうでなく色の塗りつぶし

刺しゅうオブジェクトを選択します。

垂直ツールバー

⇒『範囲選択』をクリック

⇒刺しゅうオブジェクトを選択

ステッチタイプは画面右側にある

『プロパティ』から変更します。

※プロパティは刺しゅうオブジェクトを選択している時に表示されます。

プロパティは刺しゅうオブジェクトを構成する縫いの種類に合わせて『埋め(縫い)』や『アウトライン』を表示します。

『埋め』の設定

刺しゅうの面の部分のステッチタイプを変更します。

プロパティ

⇒『埋め』

①タタミ

広い面を刺しゅうするのに向いているステッチです。

②サテン

細かい面を刺しゅうするのに向いているステッチです。一つの刺しゅうに複数のステッチ角度をつけることができます。※1cm以上糸が渡るデザインの場合には、プロパティ内の『模様』をNone以外にしてください。

③縁沿い

刺しゅうの形状にあわせて流れるような刺しゅうを作るときに使います。

④アップリケ

アップリケ刺しゅうをするときに使います。

⑤ネット

刺しゅうが網目状に刺しゅうされます。レース刺しゅうを作るときに使います。

⑥連続コピー

クリップアートを配置した刺しゅうを作ることができます。

⑦スティップリング

キルト模様のスティップリングで刺しゅうを埋めるときに使います。

⑧クロスステッチ

26 クロスステッチ刺しゅうをするときに使います。

ステッチタイプを変更する



①ランニング



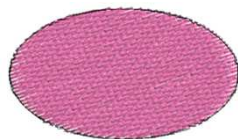
①-αランニング×ステッチ



②サテンライン



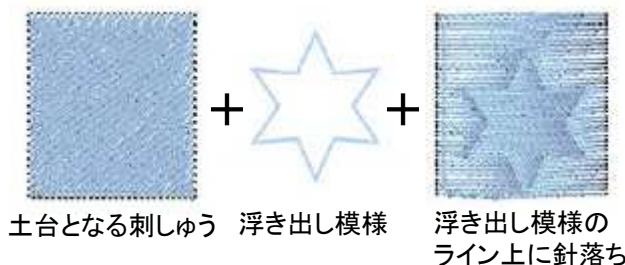
③カットワーク



④連続コピー



⑤浮き出し模様



⑥ボタンホール



『アウトライン』の設定

刺しゅうのアウトラインのステッチタイプを変更します
プロパティ
⇒『アウトライン』

①ランニング

初期設定のアウトラインです。シングルランニングで刺しゅうを縫い進めます。(ステッチが【無し】の場合)

①-αランニング×ステッチ

ランニングに設定しているとき、プロパティには『ステッチ』という項目が表示されます。

このステッチの設定を変えることでダブルラインやトリプルライン、その他色々なラインにすることができます。

②サテンライン

サテンラインになります。サテンラインの幅も数値で変更できます。

③カットワーク

生地を切り取り穴の開いたデザインを作成したり、アップリケパーツを作成できます
別売りのカットワーク針が必要になります。

④連続コピー

クリップアートをライン上に配置します。

⑤浮き出し模様

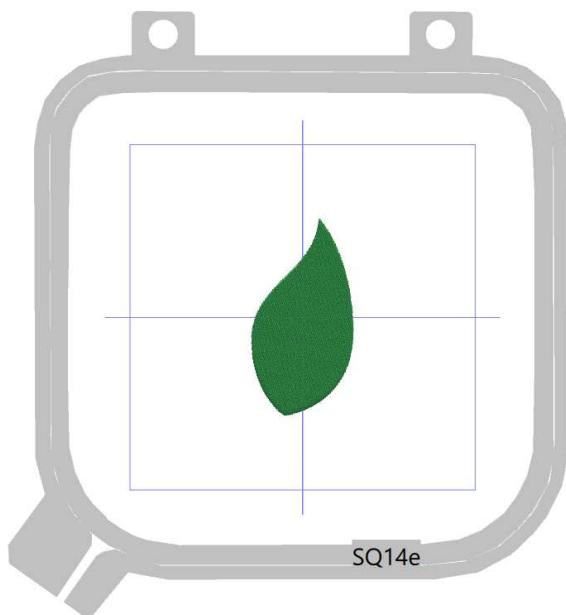
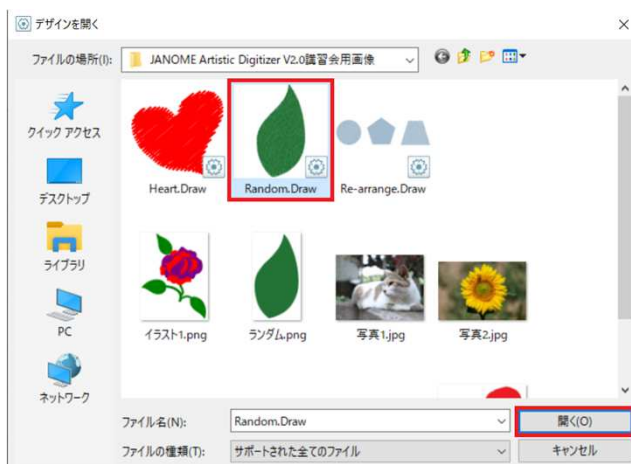
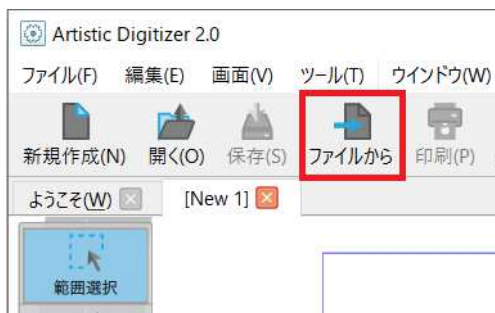
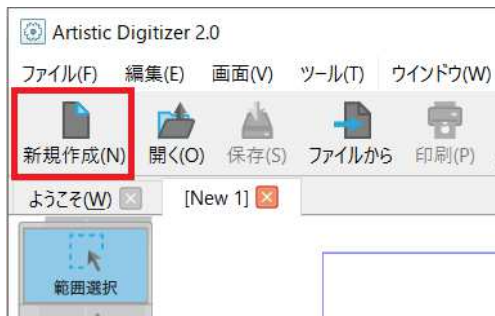
上に重ねた刺しゅうのアウトラインがサテンに浮き出るようなデザインを作成します。
またはサテン模様の針落ちを設定する際に使います。

⑥ボタンホール

ボタンホールを刺しゅうで作ります。線上にボタンホールを配置します。

上記の他、アートワーク(刺しゅうでなく色の塗りつぶし)もプロパティから選択することができます。

ステッチタイプを変更する



ステッチを『ランダム』に変更する

動物の毛並みや微妙な植物の色の変化などの表現に最適なステッチです。

『『新規作成』をクリック

新しい作業画面が開きました。

標準ツールバー

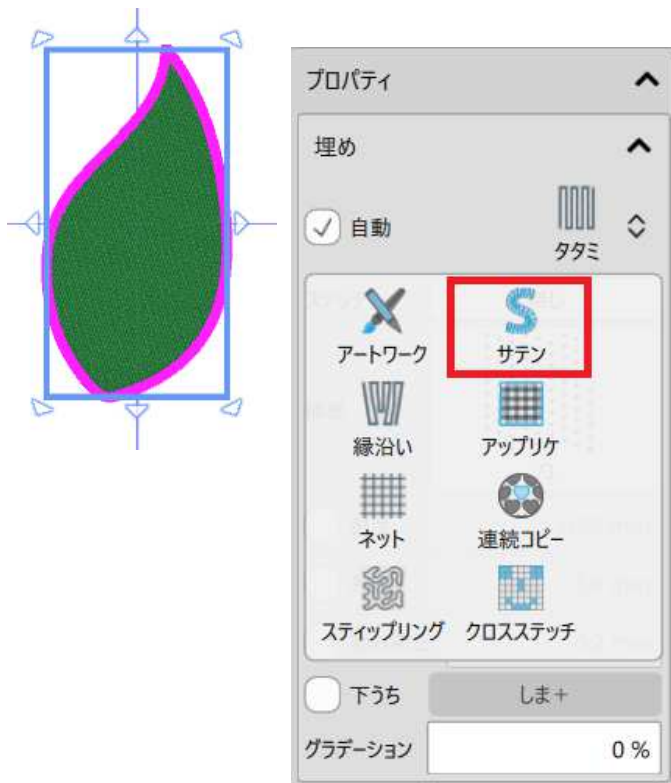
⇒『ファイルから』をクリック

『デザインを開く』の画面が表示されます。
デスクトップの『JANOME Artistic Digitizer V2.0 講習用画像』を開きます。

『Random.Draw』をクリック
⇒『開く』をクリック

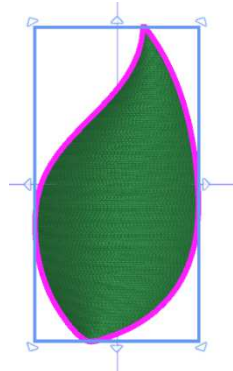
作業画面に刺しゅうデータが表示されます。

ステッチタイプを変更する

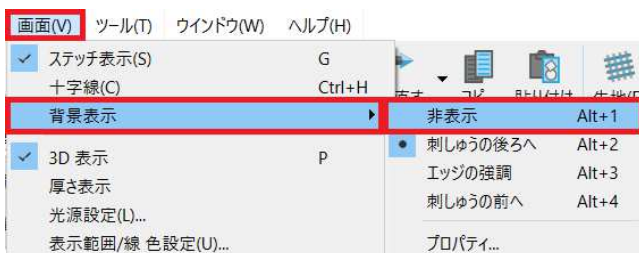


刺しゅうオブジェクトを選択します。

プロパティ
⇒『埋め』
⇒『サテン』へ変更

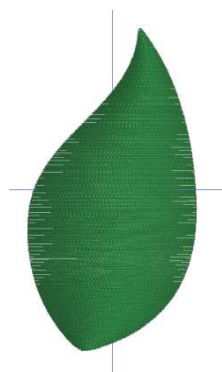


ステッチがサテンへ変更されました。



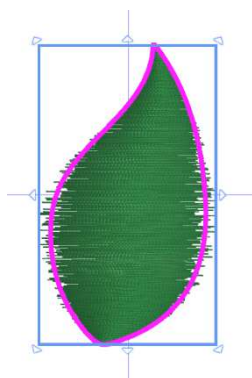
仕上がりを確認するため、背景を非表示にします。

メニューバー
⇒『画面』をクリック
⇒『背景表示』をクリック
⇒『非表示』をクリック



背景が非表示になり、ステッチデータのみ表示されました。

ステッチタイプを変更する



刺しゅうオブジェクトを選択します。

プロパティ

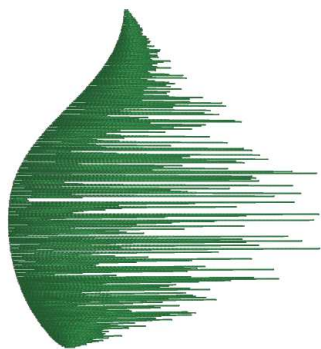
⇒『不規則』に値を入力

⇒『不規則な辺』

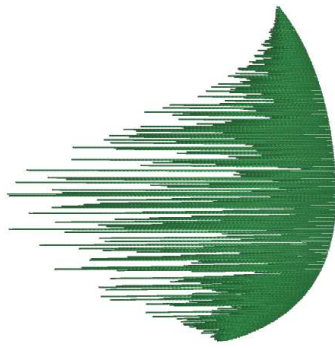
⇒『A辺/B辺/対称/両方』からお好みで選ぶ

※『不規則』に値を入力すると『不規則な辺』の項目が表示されます。

A辺



B辺



対称

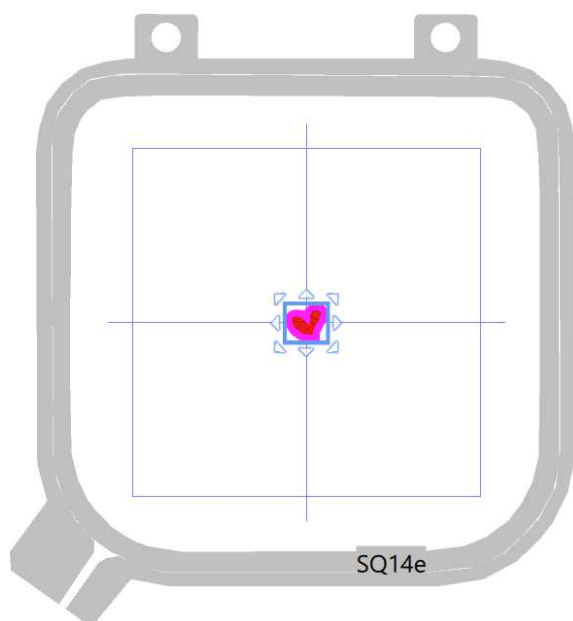
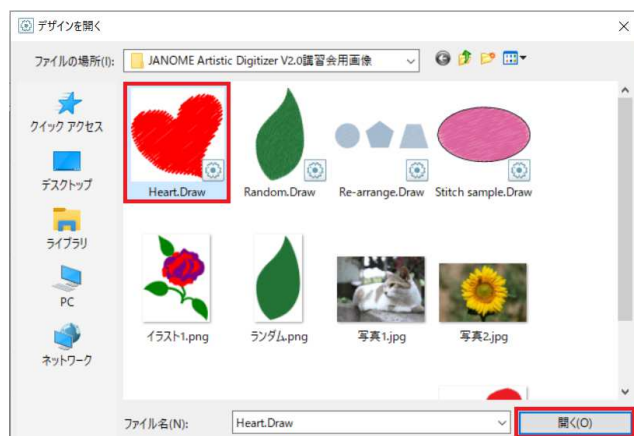
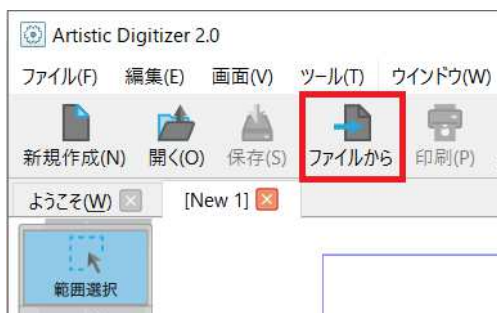
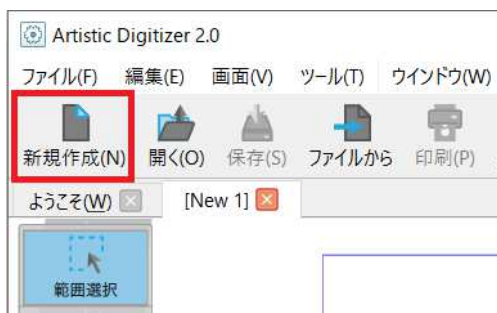


両方



ランダムにする辺を4種類の中から選ぶことができます。

刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)



『連続コピー』を使って刺しゅうオブジェクトを編集する1《スペースフィル》

刺しゅうオブジェクトを元に、異なるサイズ、回転、密度などを調整してデザインを作成します。

『新規作成』をクリック

新しい作業画面が開きました。

標準ツールバー

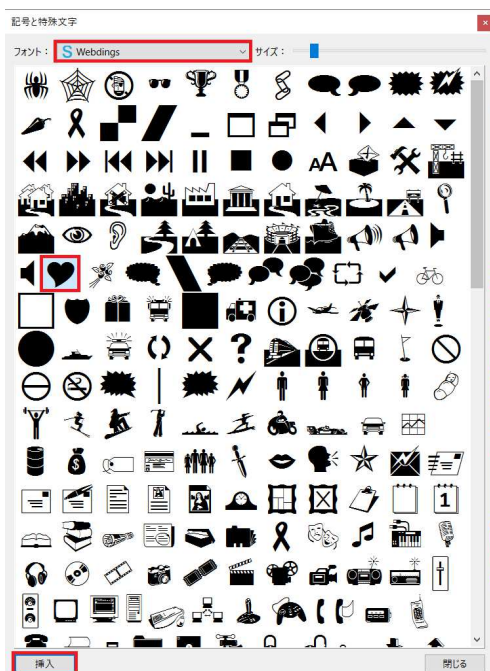
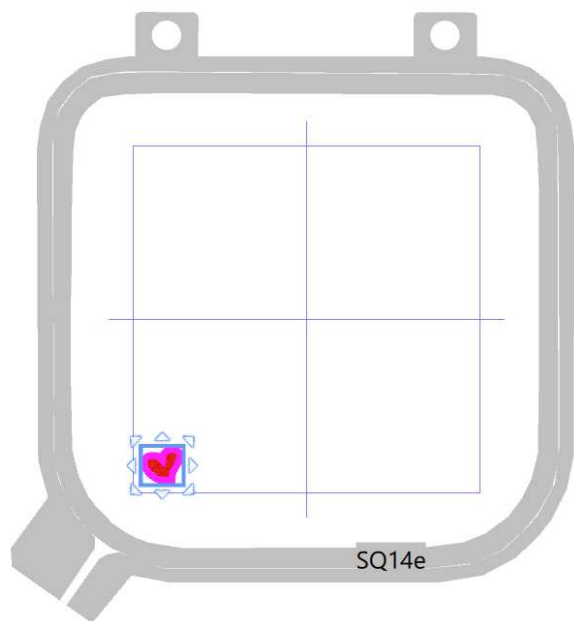
⇒『ファイルから』をクリック

『デザインを開く』の画面が表示されます。
デスクトップの『JANOME Artistic Digitizer V2.0 講習用画像』を開きます。

『Heart.Draw』をクリック
⇒『開く』をクリック

作業画面に刺しゅうデータが表示されます。

刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)

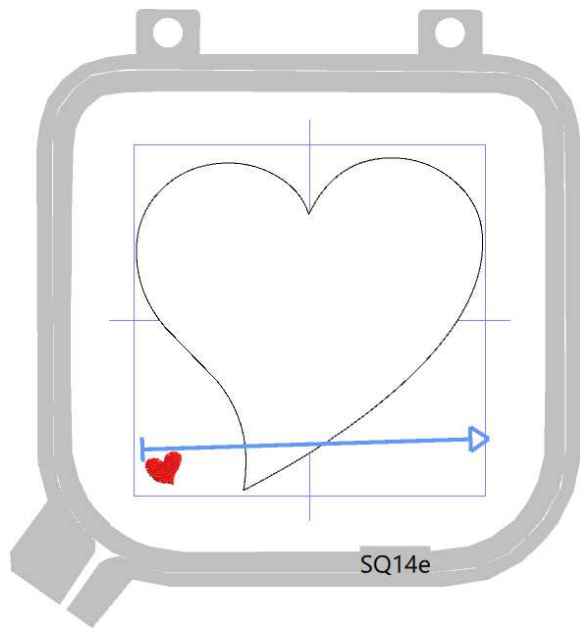


刺しゅうオブジェクトを作業画面の左端へ移動します。

『ツール』をクリック
⇒『記号と特殊文字』をクリック

フォント: S Webdings
⇒『ハート』をクリック
⇒『挿入』をクリック

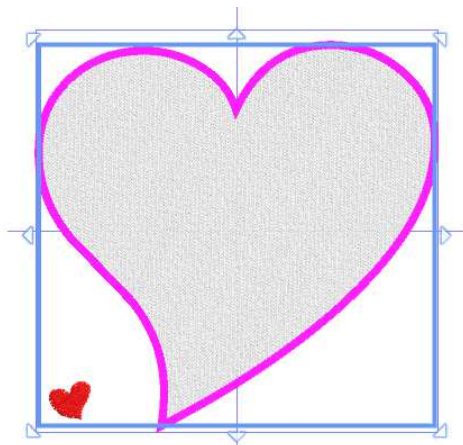
刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)



作業画面の下部でクリック&ドラッグします。



⇒『閉じる』をクリック



ハートのオブジェクトができました。

刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)

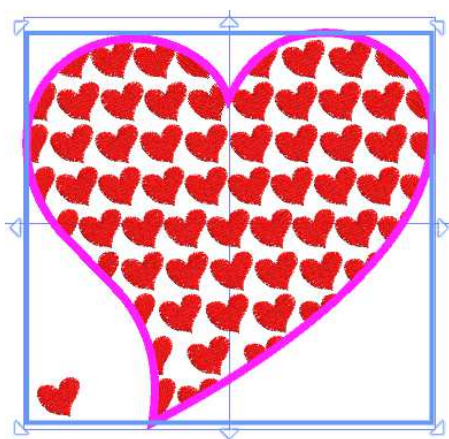


ハート(小)とハート(大)の両方を選択します。

右クリック

⇒『連続コピー』をクリック

⇒『オブジェクト内に埋める』をクリック

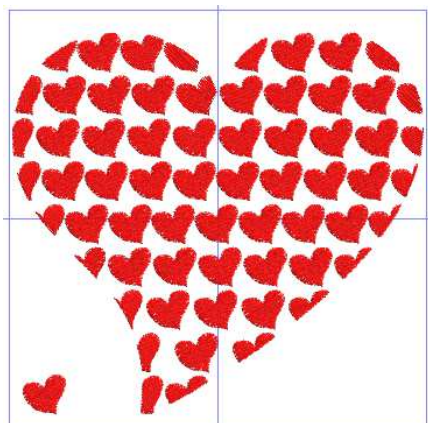


ハート(大)の中がハート(小)で埋められました。



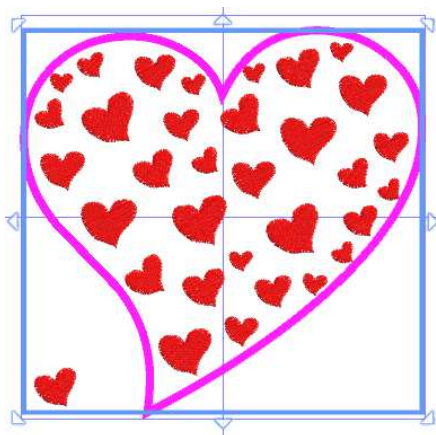
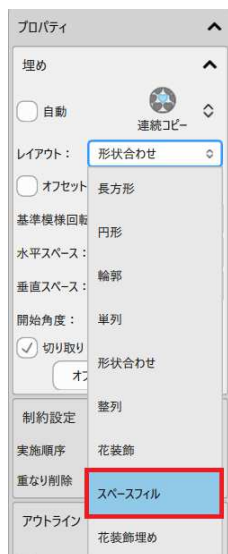
ハート(大)のまわりのアウトラインを削除します。

ハート(大)を選択した状態で、
『使用色表示ツール』の
『アウトライン』の ☒ をクリック



ハート(大)のまわりのアウトラインが削除できました。

刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)

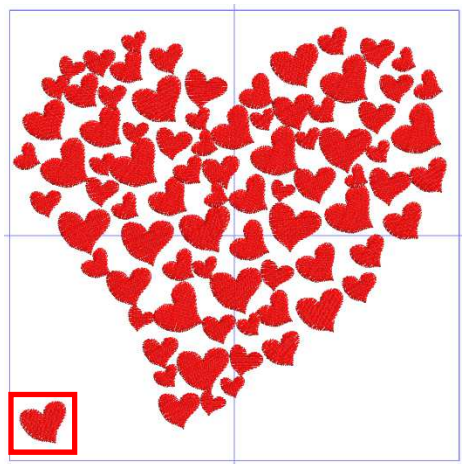


ハート(大)を選択します。

プロパティ
⇒レイアウト:『スペースフィル』

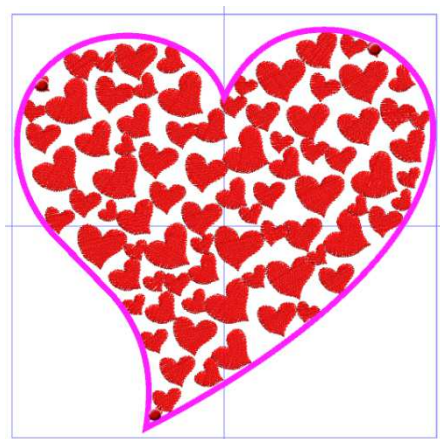
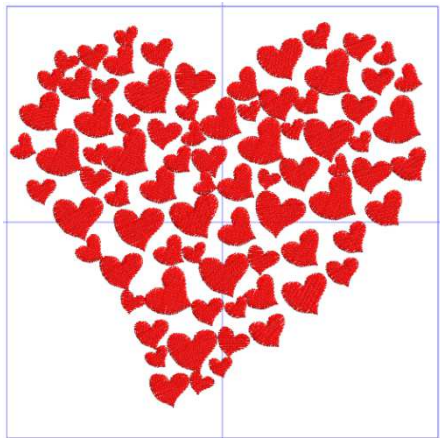


お好みでハートの角度・サイズ・密度などを編集します。



ハート(小)を削除します。

刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)



ハート(大)内のハートの配置を調整します。

ハート(大)を選択します。

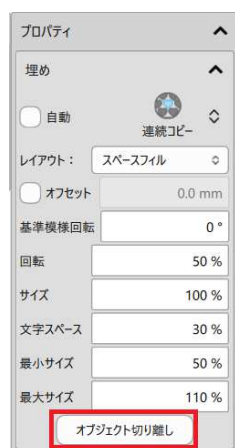
垂直ツールバー
⇒『ステッチフロー』

ハートを入れたい部分をクリックします。
クリックした赤いポイント部分にハートが入ります。

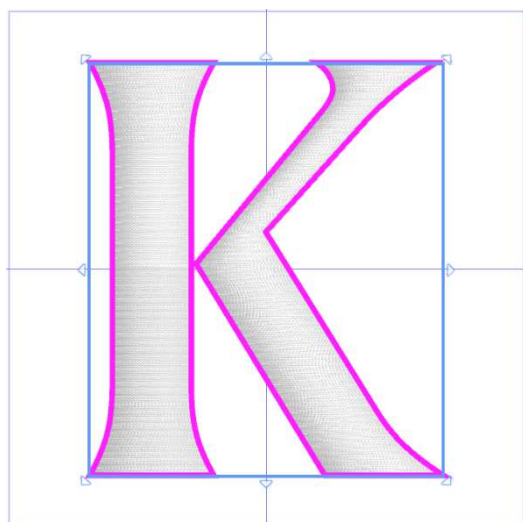
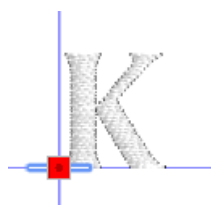
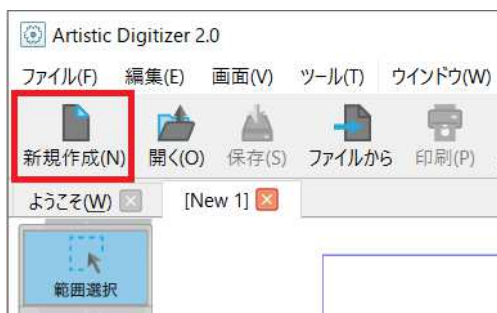
全ての編集が終わったら...

プロパティ
⇒『オブジェクト切り離し』

これでデザインが確定しました！



刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)



『連続コピー』を使って刺しゅうオブジェクトを編集する2《花装飾埋め》

刺しゅうオブジェクトを元に、花装飾埋めでデザインを作成します。

『新規作成』をクリック

新しい作業画面が開きました。

垂直ツールバー

⇒『文字デザイン』をクリック

⇒『文字入力』をクリック

作業画面の左上に文字のツールオプションが表示されます。

ツールオプション

⇒フォント: xpg001

⇒文字入力: お好みのアルファベット文字

※【Shift】キーを押しながらキーボードを打つと大文字で入力されます。

文字は作業画面の真ん中にできます。

垂直ツールバー『範囲選択』

※文字デザインの作成を終了します。

デザインを拡大します。

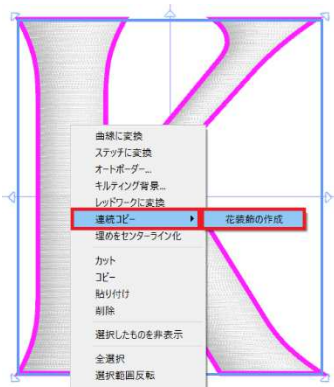
標準ツールバー

⇒『刺しゅう枠に合わせる』

文字デザインが拡大されます。

※手動か数値入力によってサイズを拡大してもOKです。

刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)



文字デザインを選択した状態で右クリックします。

⇒『連続コピー』をクリック

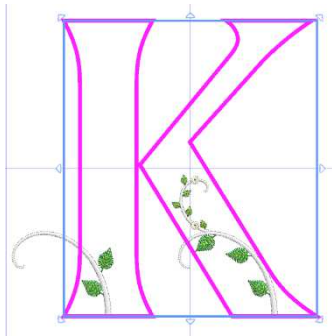
⇒『花装飾の作成』をクリック



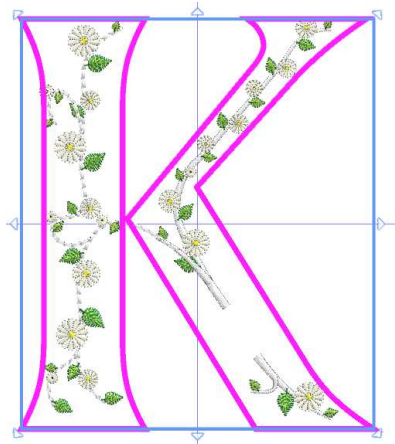
『花装飾ライブラリ』が表示されます。

⇒お好みの『花』と『葉』をそれぞれクリック

Copyright (c) 2025 DRAWSTITCH INTERNATIONAL LTD. and/or its licensors. All rights reserved.



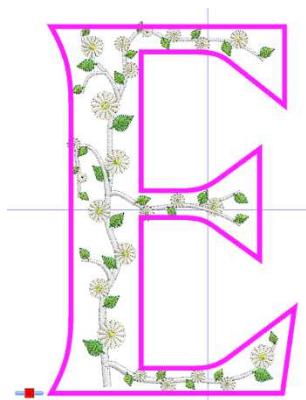
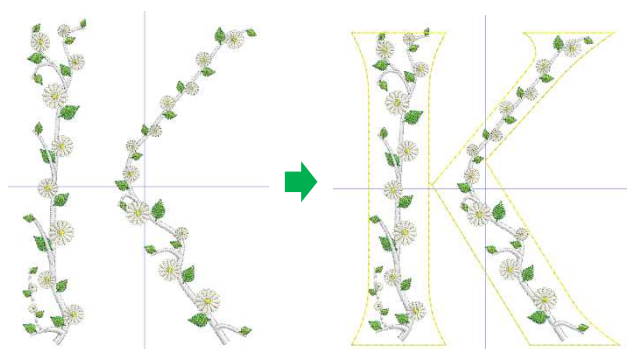
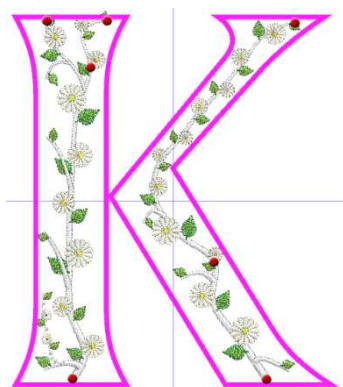
文字デザイン内に花装飾が作成されます。



文字デザインを選択した状態で、
プロパティ
⇒レイアウト:『花装飾埋め』をクリック

文字デザイン内が花模様埋めになります。

刺しゅうオブジェクトの編集(連続コピー)



文字デザイン内の花装飾埋めの配置を調整します。

文字を選択します。

垂直ツールバー

⇒『ステッチフロー』

花装飾埋めを入れたい部分をクリックします。

クリックした赤いポイント部分に花装飾が入ります。

文字デザインに使用色のアウトラインを追加したい場合

⇒『使用色表示ツール』

⇒使用色の『アウトライン』部分をクリック

文字デザインにアウトラインが追加されます。

文字デザインを変更したい場合

文字を選択します。

垂直ツールバー

⇒『文字デザイン』をクリック

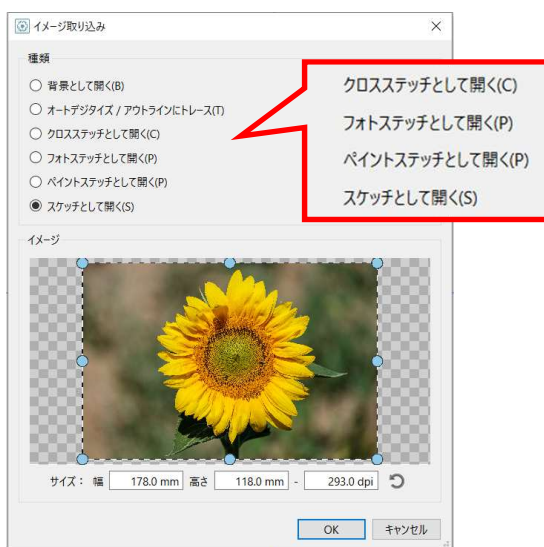
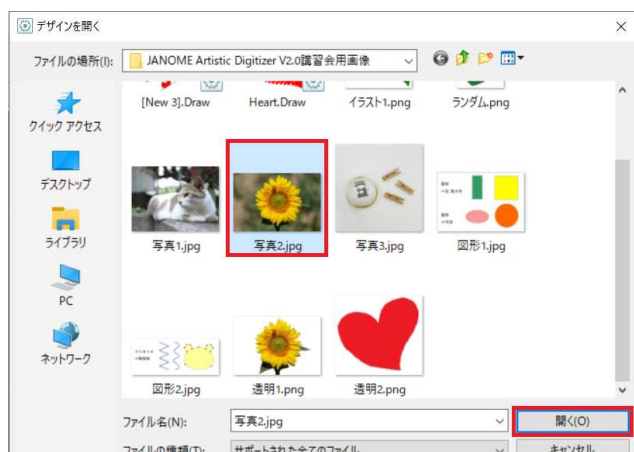
作業画面の左上に文字のツールオプションが表示されます。

ツールオプション

⇒『文字入力』をお好みの文字へ変更

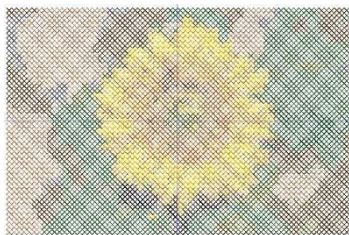
文字デザインが『文字入力』に入力した文字へ変更されます。

写真を刺しゅうに変換する

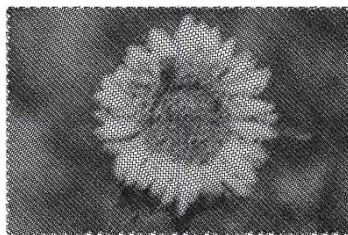


Copyright (c) 2025 DRAWSTITCH INTERNATIONAL LTD. and/or its licensors. All rights reserved.

①クロスステッチ



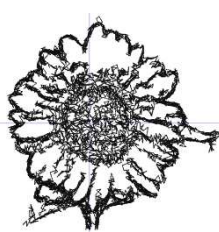
②フォトステッチ (モノクローム)



③ペイントステッチ



④スケッチステッチ



写真を刺しゅうに変換する

標準ツールバー

⇒『ファイルから』をクリック

『デザインを開く』画面が表示されます。
デスクトップの『JANOME Artistic Digitizer講習用画像』を開きます。

『写真.jpeg』をクリック

⇒『開く』をクリック

『イメージを取り込み』の画面が表示されます。

仕上がりの大きさを変えたい場合はここでサイズを変えることができます。

※刺しゅう枠と同じサイズにすると刺しゅう範囲をオーバーするので、刺しゅう枠サイズ-5mmで設定してください。

※大きいサイズのまま刺しゅう化して、作業画面で『刺しゅう枠に合わせる』をクリックして枠サイズに合わせることもできます。

写真を刺しゅう化するステッチは4種類の中から選択します。

①クロスステッチとして開く

刺しゅうをクロスステッチで仕上げます。

②フォトステッチとして開く

セピア風やモノクロ写真のような刺しゅうで仕上げます。
使用する糸色が少ない(1色or4色)のが特徴。

③ペイントステッチとして開く

絵画のようなステッチに仕上がります。
糸を重ねて作るので、よりリアルな刺しゅうになりやすいステッチです。

④スケッチとして開く (NEW)

木炭スケッチ風の仕上がりで、デザインを少ない針数/色で表現できます。Tシャツなどのデリケートな素材への刺しゅうにも適しています。

『スケッチとして開く』にチェックを入れる

⇒『OK』をクリック

写真が刺しゅうに変換されました。

※クロスステッチとペイントステッチは刺しゅうに変換後プロパティから使用糸数を調整できます。

(推奨は元の色数のまま)

※フォトステッチは刺しゅうに変換後プロパティからモノクロに指定できます。

刺しゅうオブジェクトを編集する



ペイントステッチの刺しゅうオブジェクトを編集する

①ノード編集で形状を編集

刺しゅうオブジェクトを選択
⇒垂直ツールバー『ノード編集』をクリック

選択している刺しゅうオブジェクトのフチに■のノードポイントが表示されます。

ノードポイントの追加

フチのピンクのラインの上にマウスを動かすと緑の●ポイントが表示され、その状態でダブルクリックすると、新しいノードポイントが追加されます。

※右クリック>『ノード挿入』でもノードを追加できます。

※この方法で後から追加したノードポイントは描画系ソフトでよく使われるベジェ曲線(ポイントの両サイドに矢印がついたもの)になります。
ジャノメデジタルタイザーポイントを使いたい場合は下記の方法でポイントタイプを変更してください。

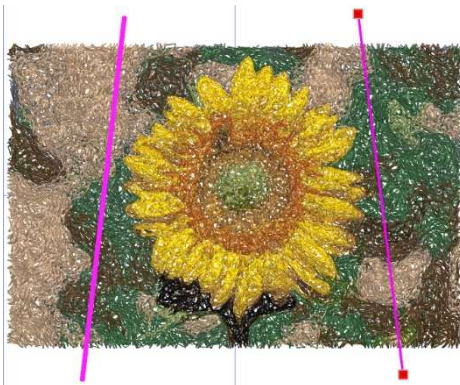
追加したノードポイントの上で右クリックする
⇒ 尖鋭ノード(直線・角のポイント)
自動円滑ノード(曲線・円のポイント)

ノードポイントを移動して形状を編集する

■のノードポイントをクリックしながらドラッグして、お好みの形状にします。

形状が変更できました。

刺しゅうオブジェクトを編集する



ペイントステッチの刺しゅうオブジェクトを編集する

②オブジェクトをナイフで切り分ける

線をデジタイズする
垂直ツールバー
『デジタイズ』をクリック
⇒『輪郭線』をクリック

オブジェクトの両端から線がはみ出すようにデジタイズします。

垂直ツールバー
⇒『範囲選択』をクリック

1本の線とオブジェクトを選択
⇒右クリック『ナイフ』をクリック

もう1本の線とその下のオブジェクトを選択
⇒右クリック『ナイフ』をクリック



オブジェクトが切り分けられました。

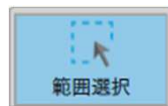
刺しゅうオブジェクトを編集する



ペイントステッチの刺しゅうオブジェクトを編集する

③オブジェクトにクリッピング範囲を設定

線をデジタイズする
垂直ツールバー
『デジタイズ』をクリック
⇒『輪郭線』をクリック



オブジェクトの上で任意の形状をデジタイズします



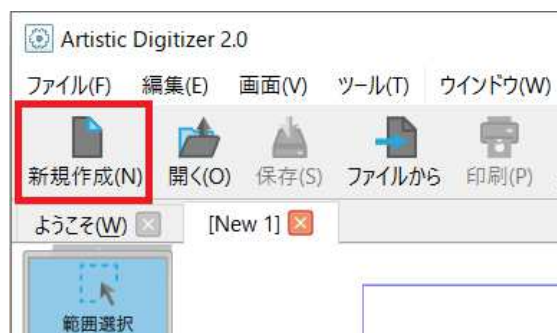
垂直ツールバー
⇒『範囲選択』をクリック

刺しゅうオブジェクトと任意の形状を選択
⇒右クリック『クリッピング領域として追加』をクリック



画像の一部が切り抜かれ、任意の形状で囲われた範囲だけが表示されました。

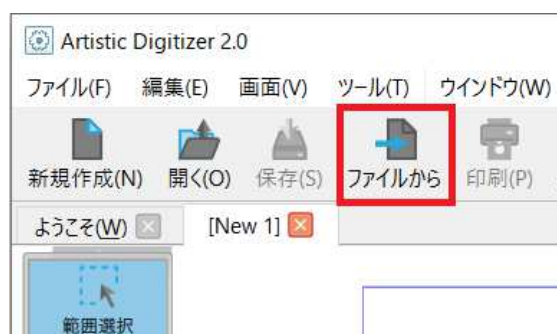
刺しゅう順序の並べ替え



同色のオブジェクト間において縫い順序を変更する

標準ツールバー
⇒『新規作成』をクリック

新しい画面が開きました。

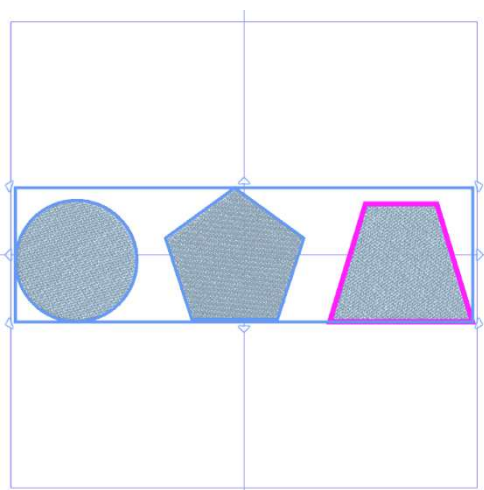


標準ツールバー
⇒『ファイルから』をクリック



『デザインを開く』の画面が表示されます。
デスクトップの『JANOME Artistic Digitizer講習用画像』を開きます。

『Re-arrange.Draw』をクリック
⇒『開く』をクリック

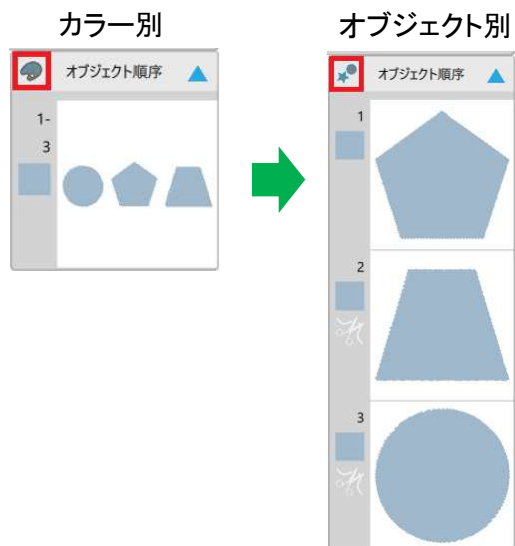


作業画面に刺しゅうオブジェクトが表示されました。

刺しゅう順序の並べ替え



オブジェクト順序を自動からマニュアルへ変更します。
標準ツールバー
⇒『自動』をクリック



『自動』のアイコンが『マニュアル』に変わります。
これでこのデザインのオブジェクト順序の変更方法を
マニュアル操作に設定できました。

オブジェクト順序の左上のアイコンをクリックして、
『カラー別表示』から『オブジェクト別表示』へ切り替えま
す。

オブジェクト順序を『マニュアル』にすると、
『垂直ツールバー』に『再アレンジ』が表示されます。

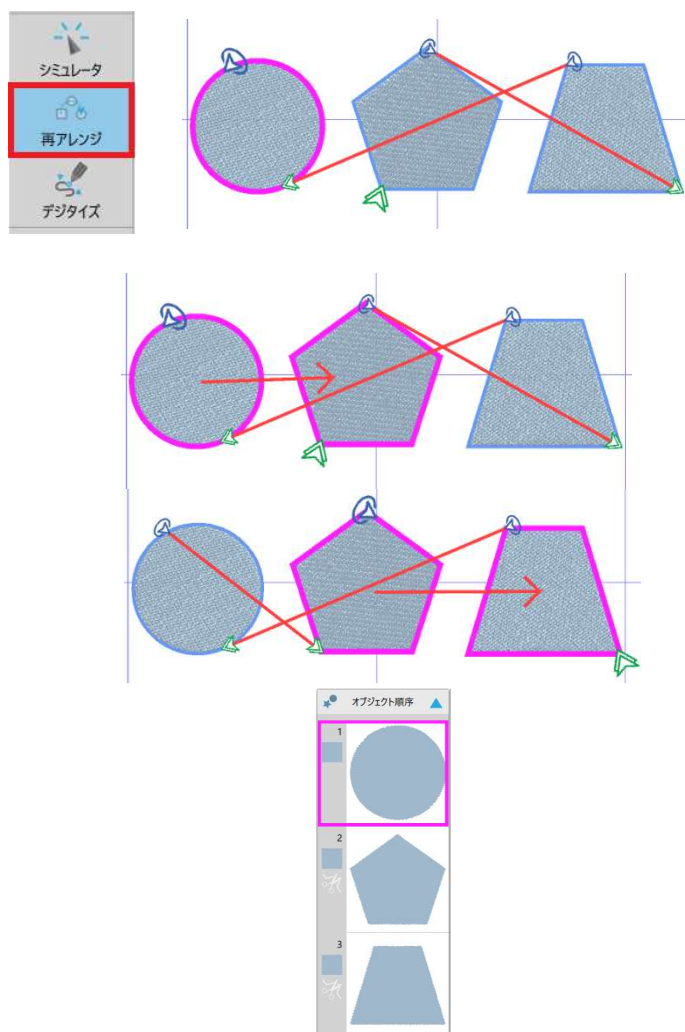
『垂直ツールバー』
⇒『再アレンジ』をクリック

各オブジェクト間の『開始点』➤と『終了点』㊦が
表示されます。

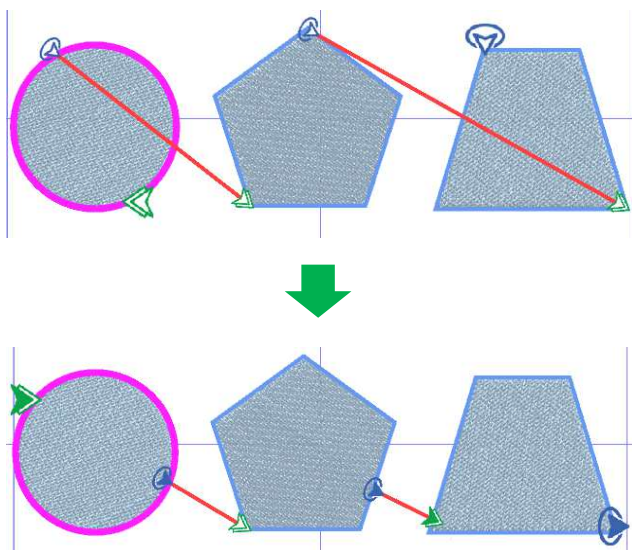
『開始点』➤: オブジェクトの縫い始めの位置
『終了点』㊦: オブジェクトの縫い終わりの位置

縫い順を、「円⇒五角形⇒台形」の順番にしたい場合

円の上でドラッグしながら五角形の上へクリック、
五角形の上でドラッグして台形の上へクリックすると、
それぞれの図形を繋ぐように赤い矢印が表示され、
図形の縫い順序が変更されます。



開始点・終了点の変更/糸切り・ミシン停止の設定



開始点と終了点を変更する

開始点または終了点の上でクリックし、お好みの場所へドラッグして移動します。

場所を移動すると開始点、終了点は塗りの矢印へ変更されます。

オブジェクト別表示



糸切り/ミシン停止をマニュアルで設定する

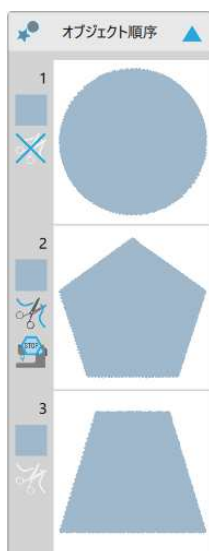
通常、糸切りとミシン停止は『最適化オプション』の値に基づいて自動設定されますが、マニュアルで設定することもできます。
(糸切りやミシン停止が自動で入っている箇所は白色で表示されています)

オブジェクト順序:『マニュアル』
オブジェクト順序:『オブジェクト別表示』

オブジェクト順序の各オブジェクトの上で右クリック

『切り抜き』・・・『糸切り』
『停止』・・・『ミシン停止』

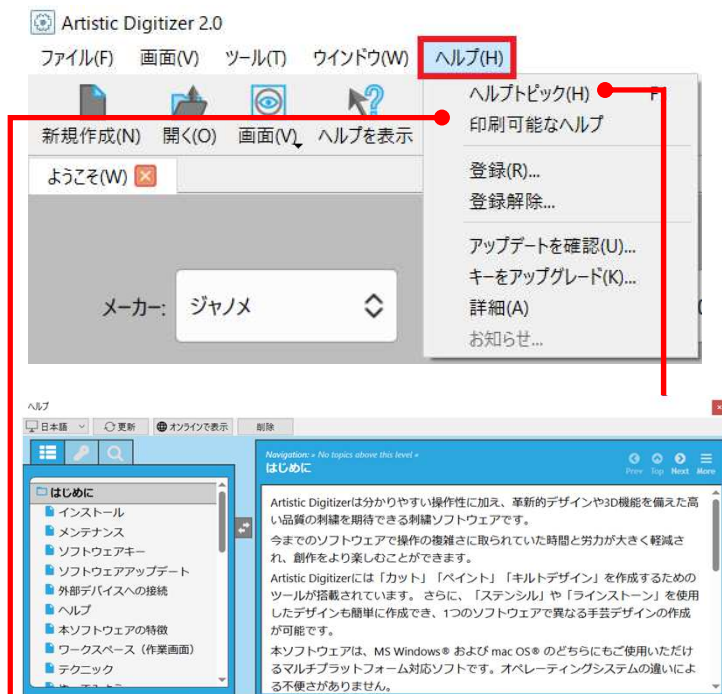
『オン/オフ/自動』から選択できます



-  糸切り: 自動
-  糸切り: あり
-  糸切り: なし
-  ミシン停止: あり
-  ミシン停止: なし

ヘルプの確認方法

Artistic Digitizerは画面上からヘルプ／ユーザーガイドの確認ができます。



ヘルプトピック

メニューバー
⇒『ヘルプ』をクリック
⇒『ヘルプトピック』をクリック

ヘルプトピックが開きます。作業中に操作方法を確認するときなどにお使いください。



使い方を調べたい箇所のヘルプトピックを簡単に表示させることもできます。

標準ツールバー
⇒『ヘルプを表示』をクリック
⇒マウスの矢印の横に？が追加される
⇒使い方を知りたいアイコンの上でクリック



印刷可能なヘルプ(ユーザーガイド)

メニューバー
⇒ヘルプ
⇒印刷可能なヘルプ

ユーザーガイドがA4サイズのPDFで表示されます。冊子で確認したい場合の印刷用などにお使いください。



株式会社ジャノメ

JANOME